マイナビ進学総合研究所

オープンキャンパス実態調査

INDEX｜目次

Ⅰ 調査概要 3
回答者構成(性別) 4

Ⅱ オープンキャンパス参加の実態 5
サマリー 6
イベント参加回数（来場型・オンライン形式） 7
参加したイベントを知った情報媒体 8
イベント参加前に行ったこと 9
イベント参加前に調べたこと 10
資料請求時点のイベント参加意向、資料請求とイベント申込の前後関係 11
来場型イベント参加の同行状況 12
保護者に同行してもらった理由 13
友人に同行してもらった理由 14
イベント参加前から参加したかったプログラム 15
実際に参加したプログラム 16

Ⅲ オープンキャンパスでの体験と意識 17
サマリー 18
参加したプログラムのうち、志望度が上がったプログラム 19
来場型イベントの参加前後で入学後の自分がイメージできた場面 20
イベント参加で入学後の自分をイメージできた理由 21
入学後の自分をイメージできた具体的な場面 22

Ⅳ オープンキャンパス・進路選択における保護者との関わり 23
サマリー 24
保護者とのイベント参加状況、イベント参加状況の把握度合い 25
保護者がイベントで気にするポイント(良い点・悪い点に限定しない) 26
保護者とのイベント参加頻度と進学先への関与 27

Ⅴ 年内入試希望者にみるイベント参加行動の特徴 28
サマリー 29
再集計の概要 30
イベント参加回数(来場型・オンライン形式) 31
参加したイベントを知った情報媒体 32
イベント参加前に行ったこと 33
イベント参加前に調べたこと 34
来場型イベント参加時の同行状況 35
イベント参加前から参加したかったプログラム 36
実際に参加したプログラム 37
参加したプログラムのうち、志望度が上がったプログラム 38
来場型イベントの参加前後で入学後の自分がイメージできた場面 39
イベント参加で入学後の自分をイメージできた理由 40
保護者とのイベント参加状況、イベント参加状況の把握度合い 41
保護者がイベントで気にするポイント(良い点・悪い点に限定しない) 42

Ⅵ 総括 43
総括｜オープンキャンパス設計について 44

© Mynavi Career Research Lab.

CHAPTER

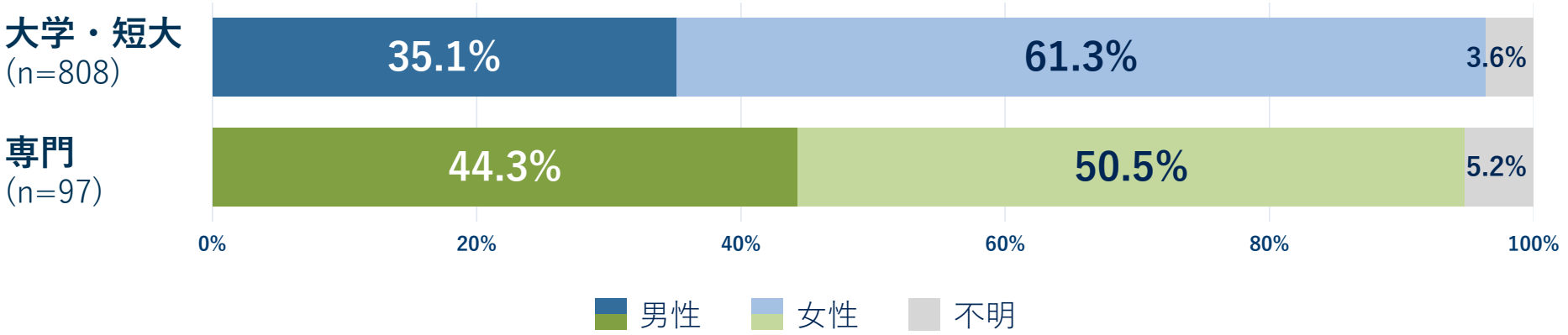
I

調査概要

調査概要

調査名	オープンキャンパスに関する実態調査
調査主体	株式会社マイナビ
調査方法	スマートフォンリサーチ
調査期間	2026年9月1日～9月7日
調査対象	マイナビ進学会員（高校3年生） **高校在学時に来場型のオープンキャンパス・学校見学などに参加した方のみを集計**
有効回答者数	905名　（大学・短大 808名 ／ 専門 97名）

回答者構成(性別)



※構成比は各進学希望先の回答者を100%として表示。
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※以降、「短期大学」は「短大」、「専門学校」は「専門」と表記。

CHAPTER

II

オープンキャンパス参加の実態

参加前の情報収集から、申込・同行・当日の体験まで

来場前から複数の情報源・観点で学校を確認
当日は同行者も交え、複数のプログラムを体験

- イベント参加は来場型が中心で、オンライン形式への参加は限定的。
  大学・短大では「1回」の来場が中心で、専門では複数回来場にも回答がみられる。

- イベント参加前から、学校公式WEBページや進学サイト、
  パンフレットなど複数の媒体で情報を収集。
  利用する情報源には進学希望先による違いもみられる。

- 参加前に調べた内容は、希望する進学先に関わらず「学べる内容」が最多。
  入試方法や資格、学費、所在地・周辺環境など、複数の観点から学校を確認している。

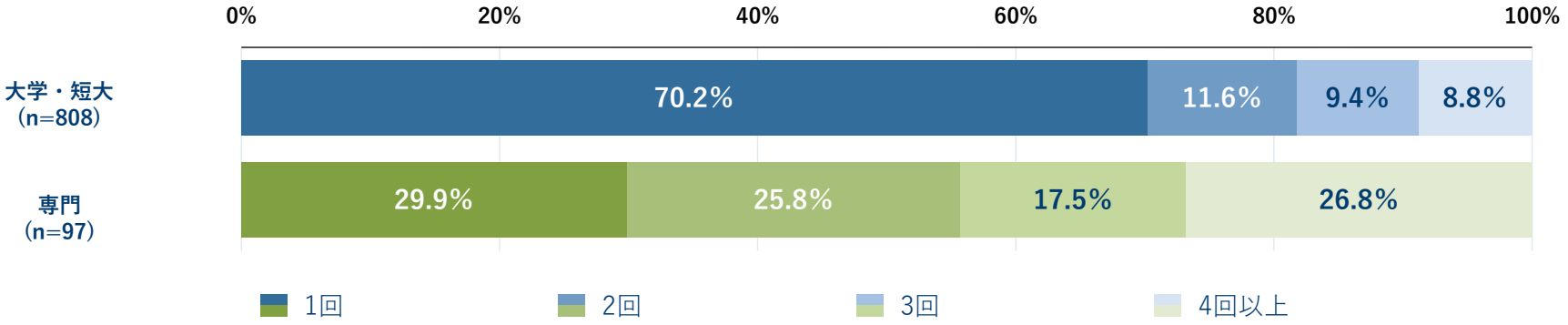
- 当日は「全体説明／ガイダンス」を中心に、学部・入試説明や授業体験など
  複数のプログラムへ参加。

- 保護者や友人と一緒に参加するケースもみられる。
  同行理由には、学校・生活環境の確認、別の視点を得ること、
  一人参加への不安軽減などが挙げられた。

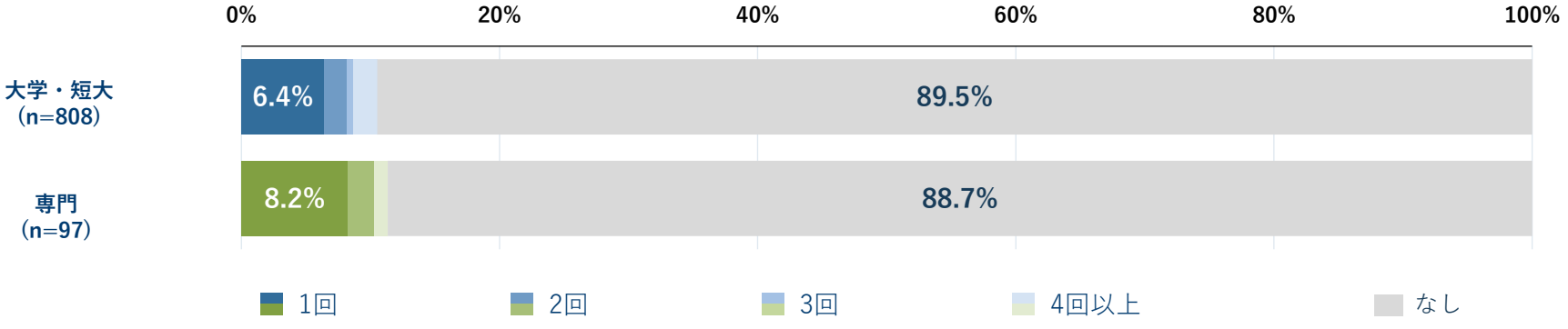
イベント参加回数（来場型・オンライン形式）

**高校在学時に来場型のオープンキャンパス・学校見学などに参加したことがあると回答した人に、
一校に限定し参加回数について聴収した。大学・短大では「1回」が70.2%を占める一方、
専門では1回から4回以上まで回答が分散している。オンライン形式への参加は希望進学先に関わらず、1割を切る。**

来場型



オンライン形式



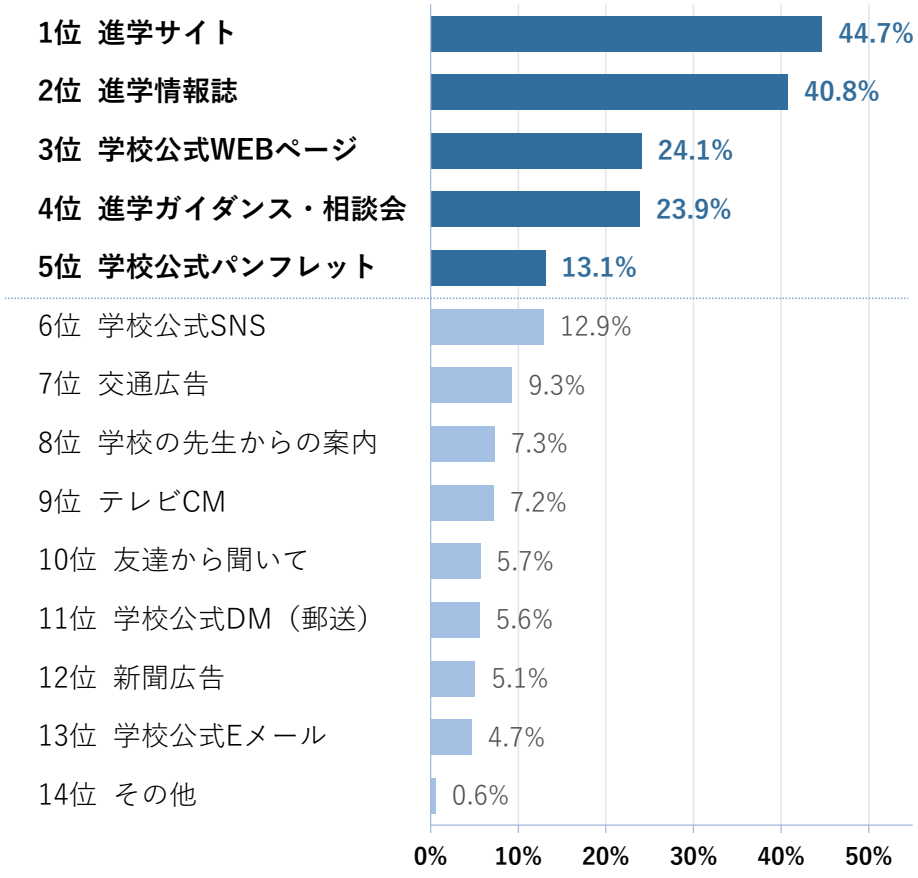
※2回／3回／4回以上：大学・短大 1.7%／0.5%／1.9%、専門学校 2.1%／0.0%／1.0%

※イベントの形式問わず、イベントに参加したことがあると回答した人に聴収。
※四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。

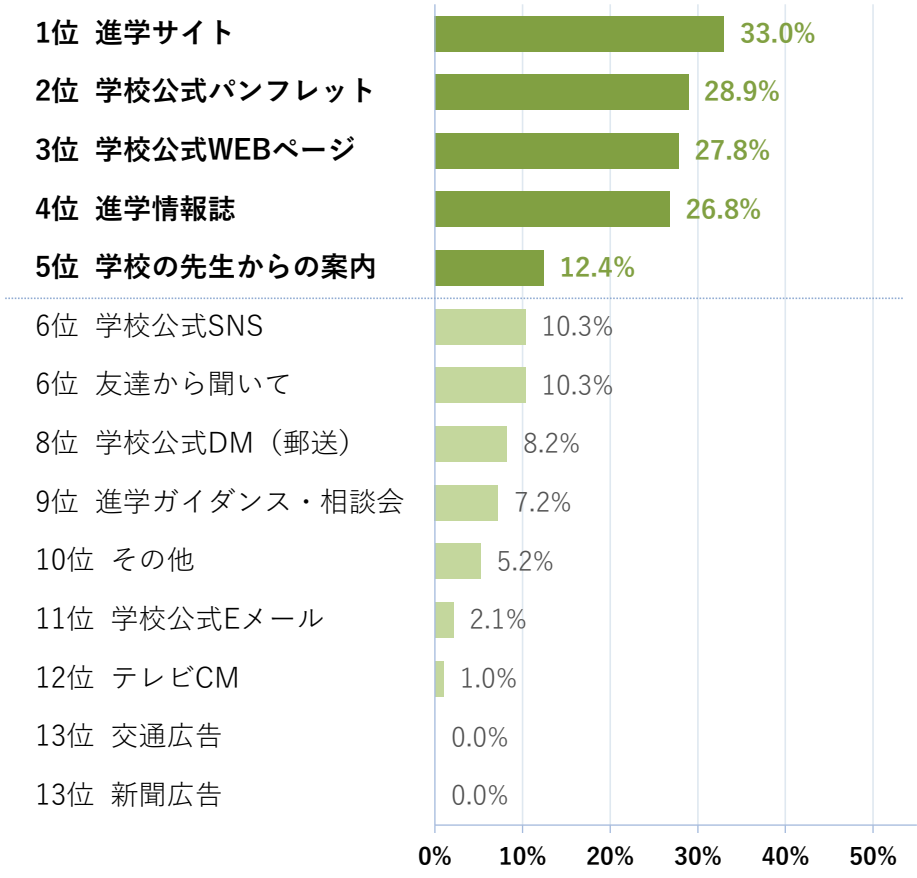
参加したイベントを知った情報媒体

イベントを知った媒体は、大学・短大、専門ともに「進学サイト」が最多。
大学・短大では「進学情報誌」、専門では「学校公式パンフレット」が2位となり、
進学先によって上位の情報接点に違いがみられる。

大学・短大進学希望者（n=790）



専門学校進学希望者（n=93）

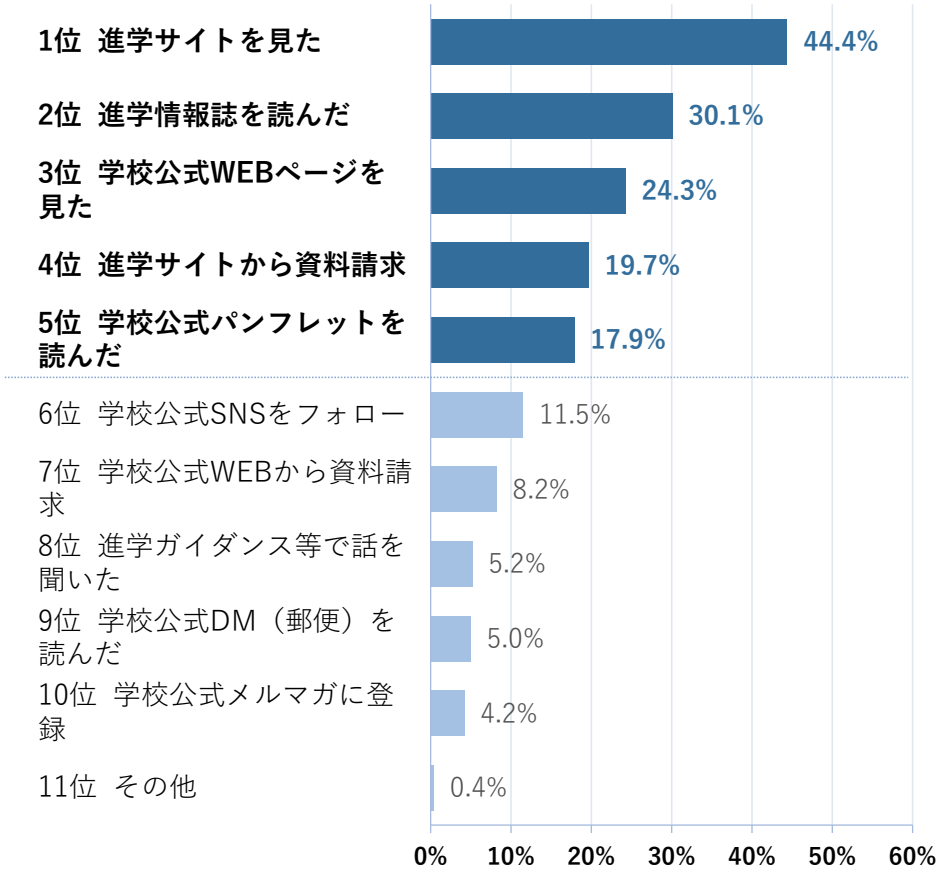


※複数回答。全15項目を掲載。「覚えていない」は順位対象外（大学・短大：2.4%、専門学校：6.2%）。
※同率は同順位。項目名は一部省略（「学校公式SNS」はLINE・Xなど、「学校公式DM」は郵送）。

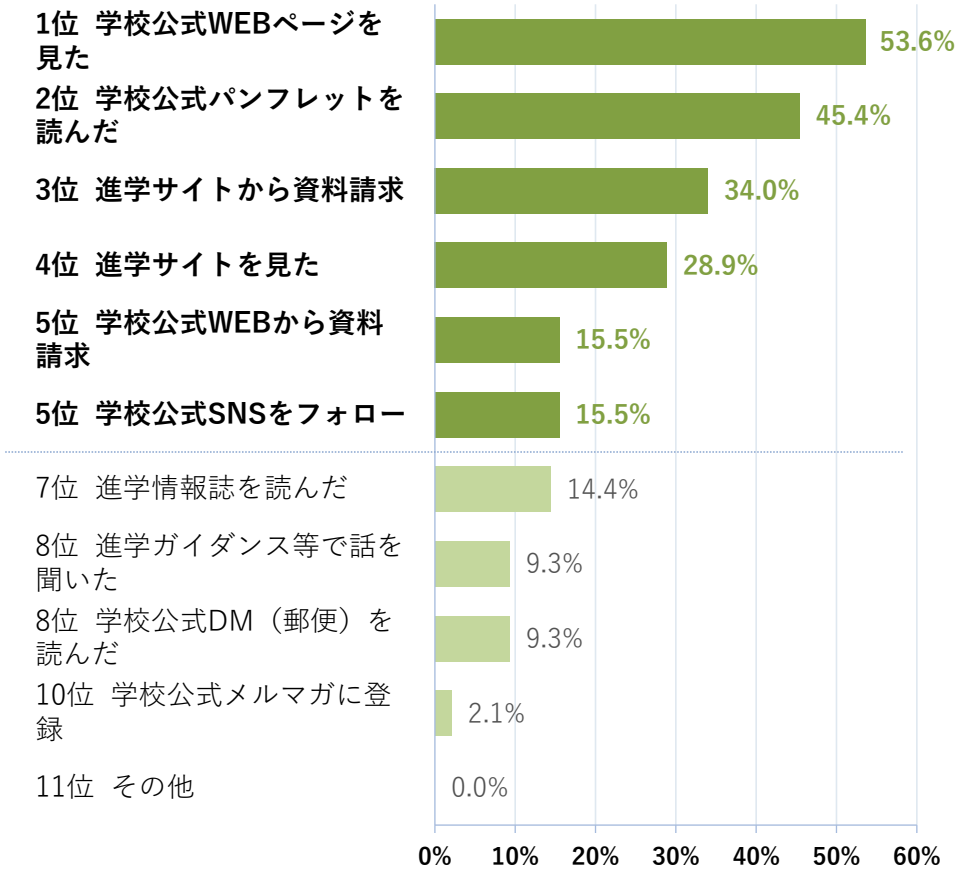
イベント参加前に行ったこと

**イベント参加前に行ったことは、大学・短大では「進学サイトを見た」が44.4%で最多。
専門では「学校公式WEBページを見た」が53.6%で最多となり、
次いで「学校公式パンフレットを読んだ」が45.4%となった。**

大学・短大進学希望者（n=808）



専門進学希望者（n=97）

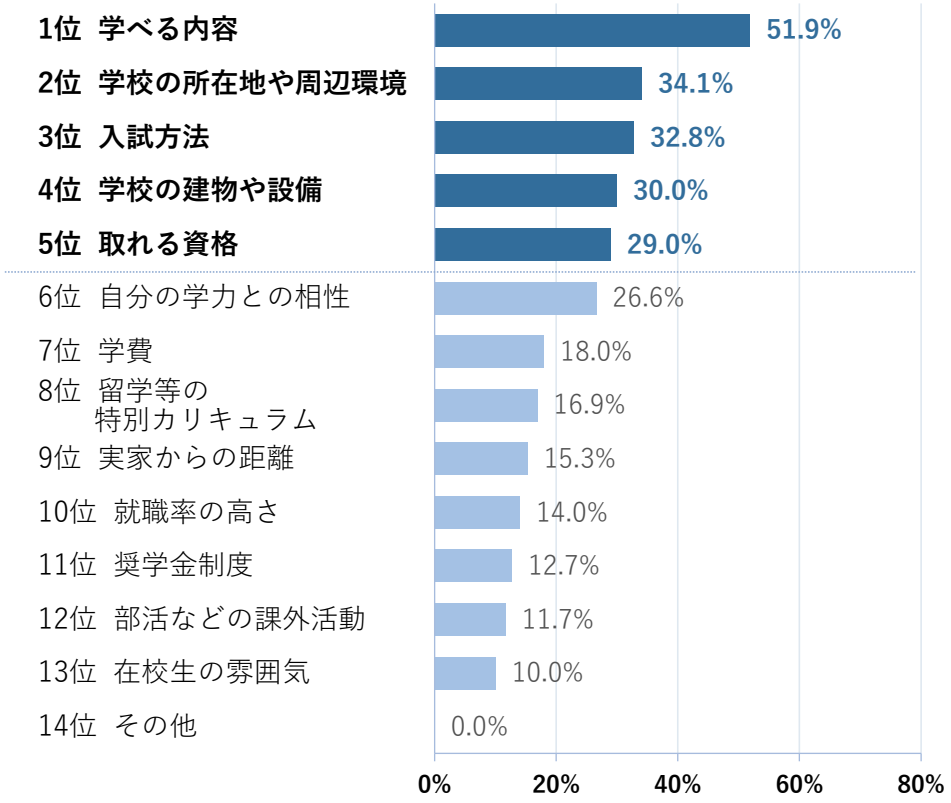


※複数回答。「アクションをしていない」は順位対象外（大学・短大3.8%、専門6.2%）。同率は同順位。項目名は一部短縮。

イベント参加前に調べたこと

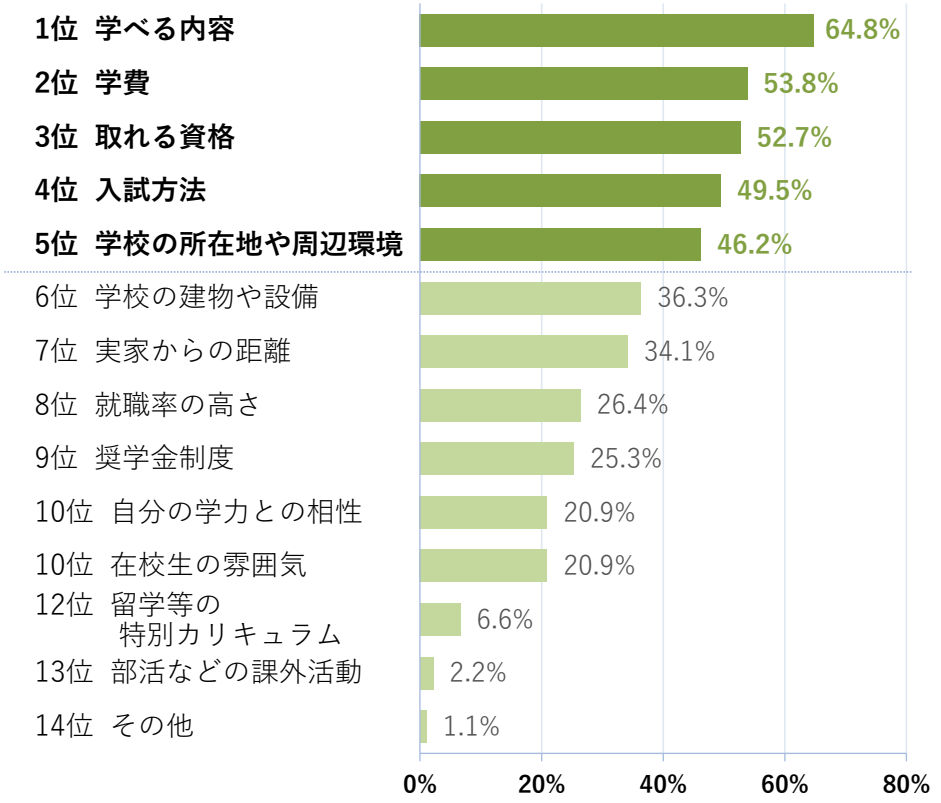
参加前に調べた内容は、大学・短大、専門ともに「学べる内容」が最多。
専門では「学費」「取れる資格」も5割を超え、「入試方法」「学校の所在地や周辺環境」も上位に挙がる。

大学・短大進学希望者（n=777）



平均回答個数 **3.0** 個

専門進学希望者（n=91）



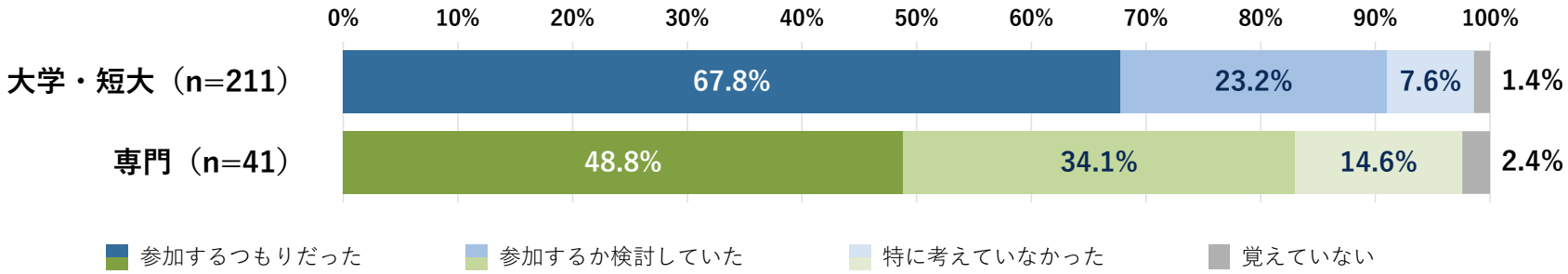
平均回答個数 **4.6** 個

※回答対象：イベント参加前に「アクションをしていない」と回答した人を除く。
※複数回答。「事前準備はしていない」は順位対象外（大学・短大：1.2%、専門学校：3.3%）。同率は同順位。
※平均回答個数は「事前準備はしていない」を除いて算出（大学・短大：3.0個、専門学校：4.6個）。

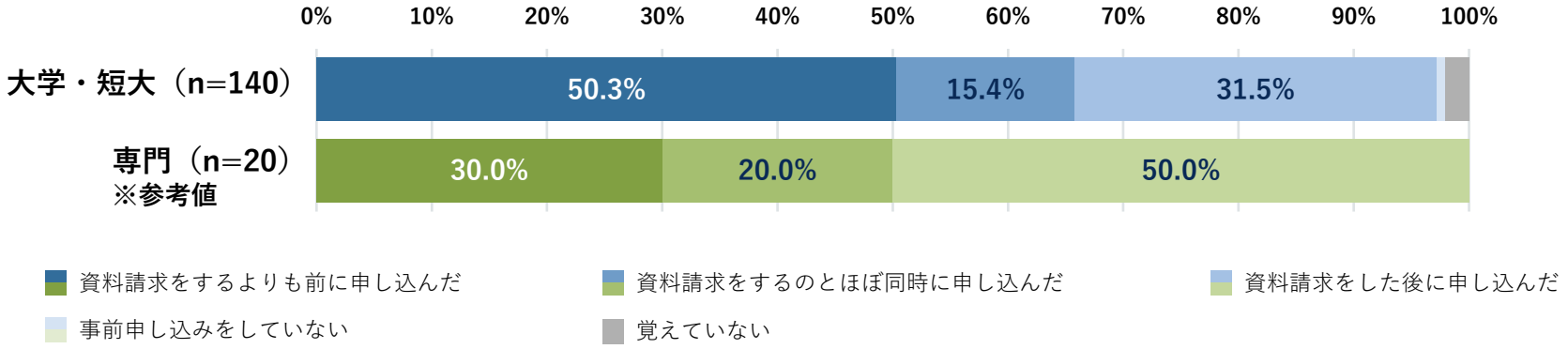
資料請求時点のイベント参加意向、資料請求とイベント申込の前後関係

資料請求時点では、大学・短大91.0%、専門82.9%がイベントへの参加を予定・検討。
実際のイベント申込時期は資料請求の前後に分かれ、資料請求後に申し込んだ割合は大学・短大31.5%、専門50.0%だった。

資料請求をした時を思い出してください。資料請求時点でその学校のイベントに行く予定はありましたか。（単一回答）



来場型で参加した直近のオープンキャンパス・学校見学会などのイベントについて、参加する際、事前申し込みは行ないましたか。（単一回答）



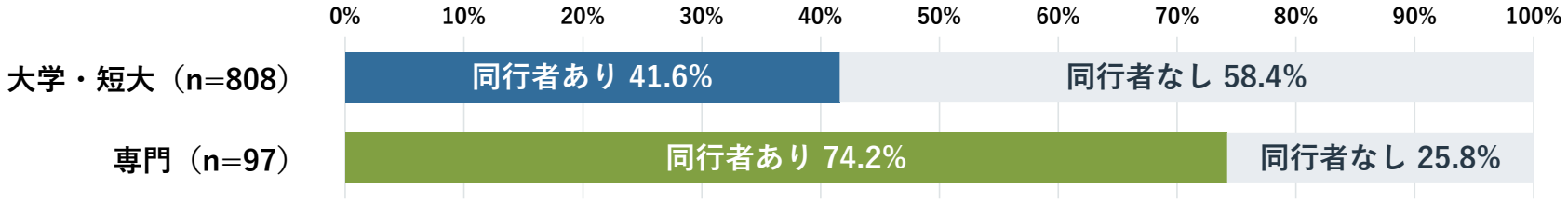
※グラフ上で表示を省略した値　「事前申し込みをしていない」大学・短大0.7%・専門学校0.0%／「覚えていない」大学・短大2.1%・専門学校0.0%

※1　「Q. 資料請求をした時を思い出してください。資料請求時点でその学校のイベントに行く予定はありましたか。」
※2　聴取対象：資料請求時点で「イベントに参加するつもりだった」と回答した人。専門学校は n=20 のため参考値。

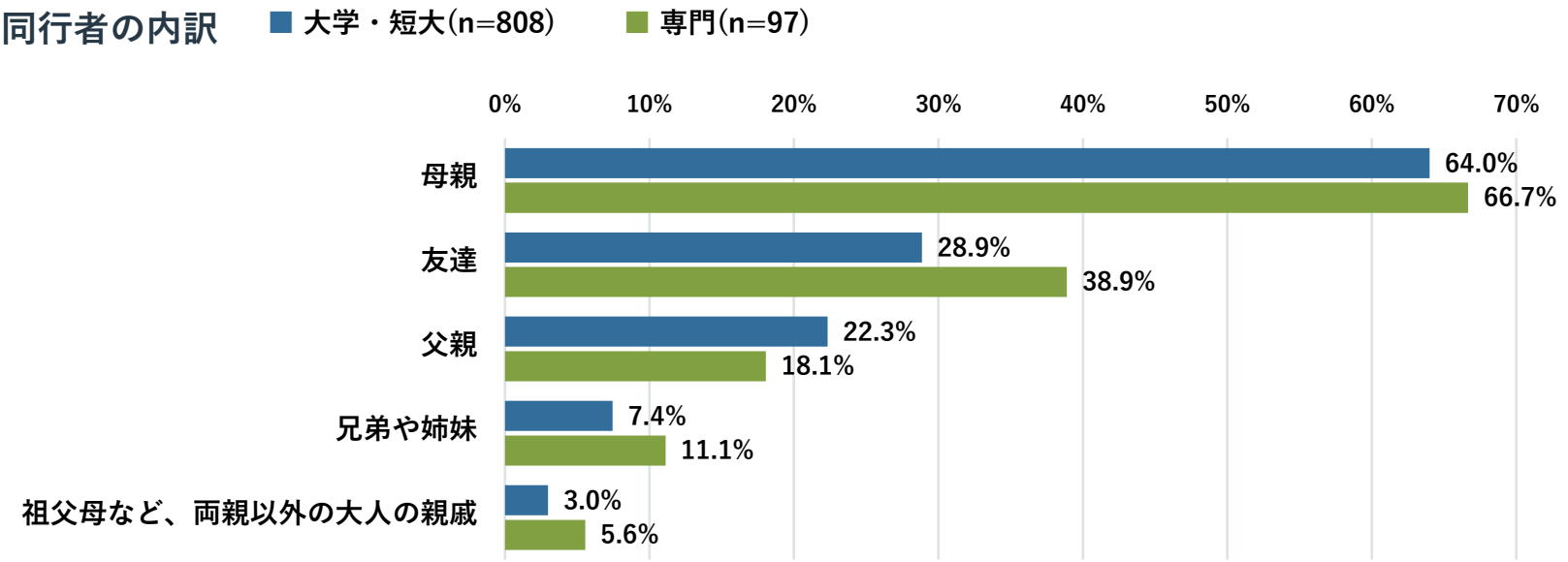
来場型イベント参加の同行状況

同行者ありは、大学・短大41.6%、専門74.2%。同行者はいずれも「母親」が最も多く、「友人」は大学・短大12.0%、専門28.9%だった。

1 同行者の有無



2 同行者の内訳



※「同行者あり」は、100%から「自分だけで行った」の割合を差し引いて算出。
※同行者は複数回答のため、各項目の合計は「同行者あり」の割合と一致しない。
※「２誰と行ったか」は「１同行者の有無」で「同行者あり」と回答した人を分母としている。

保護者に同行してもらった理由

保護者に同行してもらった理由として、学校について一緒に確認することや、進学後の生活環境を確認すること、保護者の意見を聞くこと、一人で参加することへの不安などが挙げられた。

大学・短大進学希望者

自由回答でみられた同行理由(抜粋)

学校・入試・雰囲気を一緒に確認

「親にも学校の雰囲気を知ってもらうため」

「一緒に学校説明を聞いてもらいたかった為」

遠方への移動・進学後の生活環境を確認

「遠方なので通学するとなれば一人暮らしになるから、環境も合わせて一緒に確認したから」

「学校から自宅までの電車の乗り換えや時間の確認。学校まわりの雰囲気の確認」

保護者の意見・視点を得る

「自分じゃ感じられない、親目線の意見も欲しかったから」

「親と話して進路を決めたかったから」

専門進学希望者

自由回答でみられた同行理由(抜粋)

学校について保護者にも知ってもらう

「親にもどのような学校かみてほしかったから」

「保護者対象の説明会に参加するため」

一人で参加する不安・心細さの軽減

「保護者も一緒に行くと安心できるから」

「1人では参加しにくい」

保護者の意見・視点を得る

「自分だけでなく親の目線でも見て評価してほしかったから」

「別の視点で観れると思った」

※回答者は高校生本人。保護者は同行者であり、回答者ではない。

※自由回答を内容別に整理し、各テーマに該当する回答の一部を原文のまま掲載。テーマ間の回答数や割合を示すものではない。

友人に同行してもらった理由

**友人に同行してもらった理由として、志望校・学部・進路が共通していること、
一人で参加することへの不安や心細さ、友人と一緒に参加する楽しさ、友人からの誘いや約束などが挙げられた。**

大学・短大進学希望者

自由回答でみられた同行理由(抜粋)

志望校・学部・進路が共通

「同じ大学を第1志望にしていたから」
「志望する学部が一緒だった」

一人で参加することへの不安・心細さ

「一人だと心細いから。」
「気が楽だから」

友人と一緒に体験する楽しさ

「1人で参加するよりも友達と参加するほうが楽しいし
体験する内容が広がったり中身が濃くなるから。」
「友達と闊歩しながら大学生の気分を味わえるから」

専門進学希望者

自由回答でみられた同行理由(抜粋)

志望校・進路が共通

「同行者も同じくこの専門学校を志望していたから。」
「同じ進路先を考えていたから」

一人で参加することへの不安・心細さ

「緊張が和らぐから」
「ひとりじゃ心細かったから」

友人からの誘い・約束をきっかけに参加

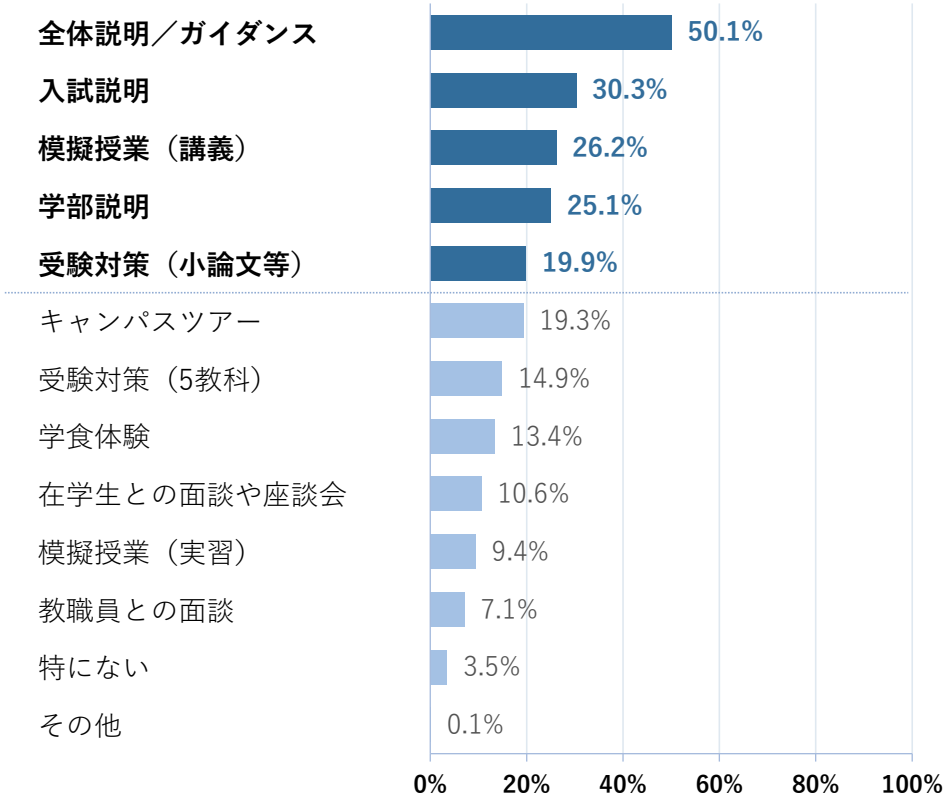
「誘われたから」
「友達と行く約束をしたから」

※回答者は高校生本人。保護者・友人は同行者であり、回答者ではない。
※自由回答を内容別に整理し、各テーマに該当する回答の一部を原文のまま掲載。テーマ間の回答数や割合の大小を示すものではない。

イベント参加前から参加したかったプログラム

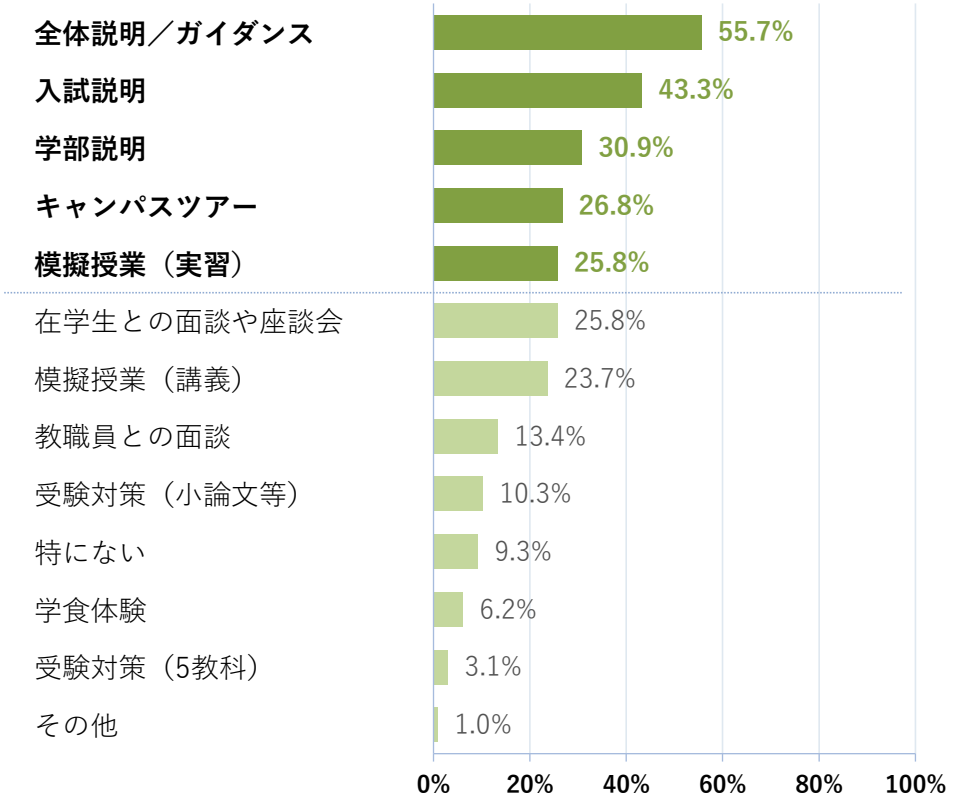
**参加したかったプログラムは、大学・短大、専門ともに「全体説明／ガイダンス」が最多。
専門では「入試説明」が4割を超え、学部説明、キャンパスツアー、実習形式の模擬授業などにも回答が広がる。**

大学・短大進学希望者（n=808）



平均回答個数 **2.4** 個

専門進学希望者（n=97）



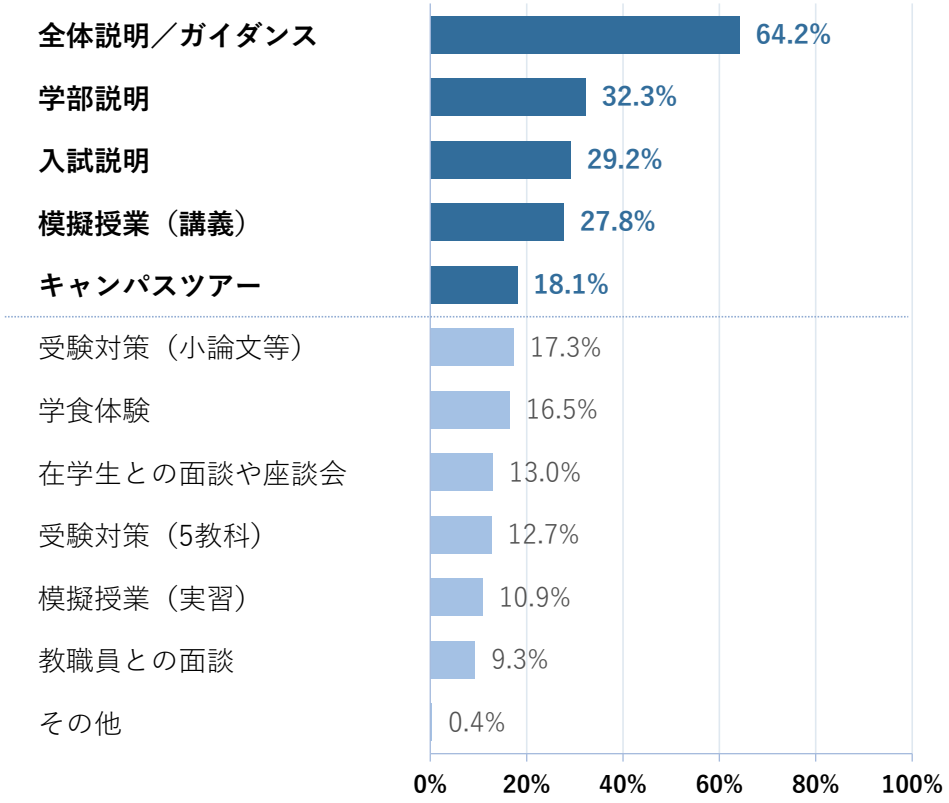
平均回答個数 **2.9** 個

※副素回答。「特にない」は順位対象外（大学・短大 3.5% ／ 専門学校 9.3%）
※平均回答個数は、「特にない」を除く選択肢の回答者を対象に算出
※「受験対策（小論文等）」は小論文・志望理由書・面接、「模擬授業（講義）」は講義／授業形式を指す。

実際に参加したプログラム

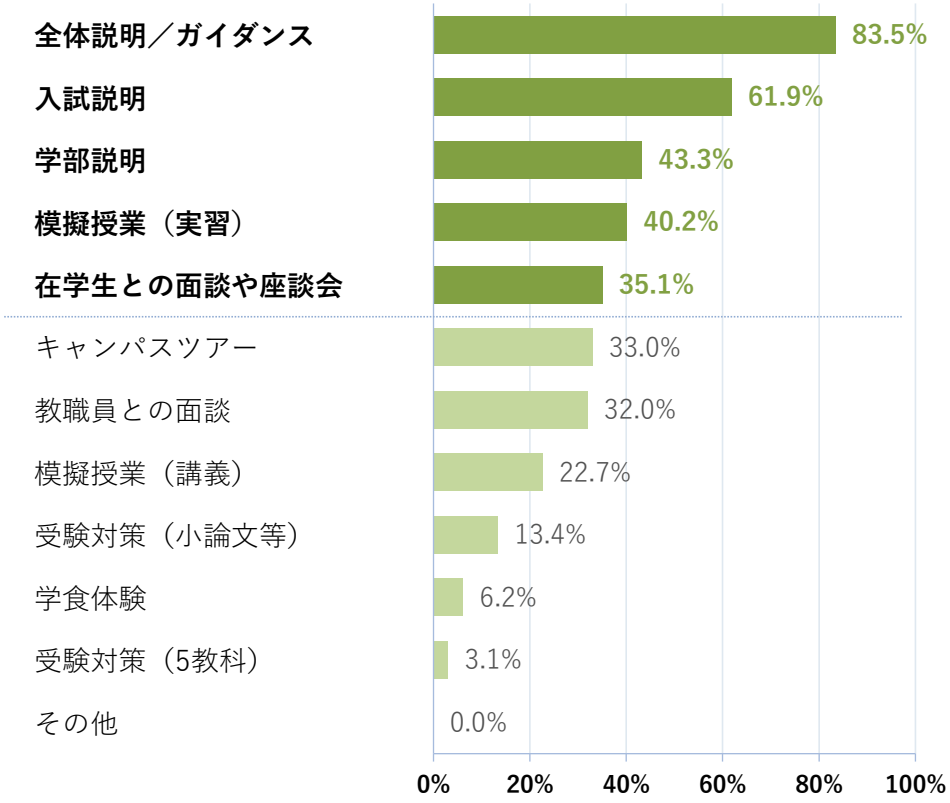
**実際に参加したプログラムは、大学・短大、専門ともに「全体説明／ガイダンス」が最多。
専門では「入試説明」「学部説明」「模擬授業（実習）」などにも回答がみられ、
平均参加プログラム数は大学・短大2.5個、専門3.7個だった。**

大学・短大進学希望者（n=808）



平均回答個数 **2.5** 個

専門進学希望者（n=97）



平均回答個数 **3.7** 個

※複数回答。各進学希望先の全回答者を分母として集計しているため、各項目の合計は100%を超える。
※「受験対策（小論文等）」は小論文・志望理由書・面接、「模擬授業（講義）」は講義・授業形式を指す。

CHAPTER

III

オープンキャンパスでの体験と意識

イベント参加校に関する回答より

「全体説明」を中心に志望度が上昇
交流・授業体験・学校環境から、入学後の自分を具体化

- 志望度が上がったプログラムは、大学・短大、専門ともに「全体説明／ガイダンス」が最多。
  専門では「入試説明」「模擬授業（実習形式）」も上位に。

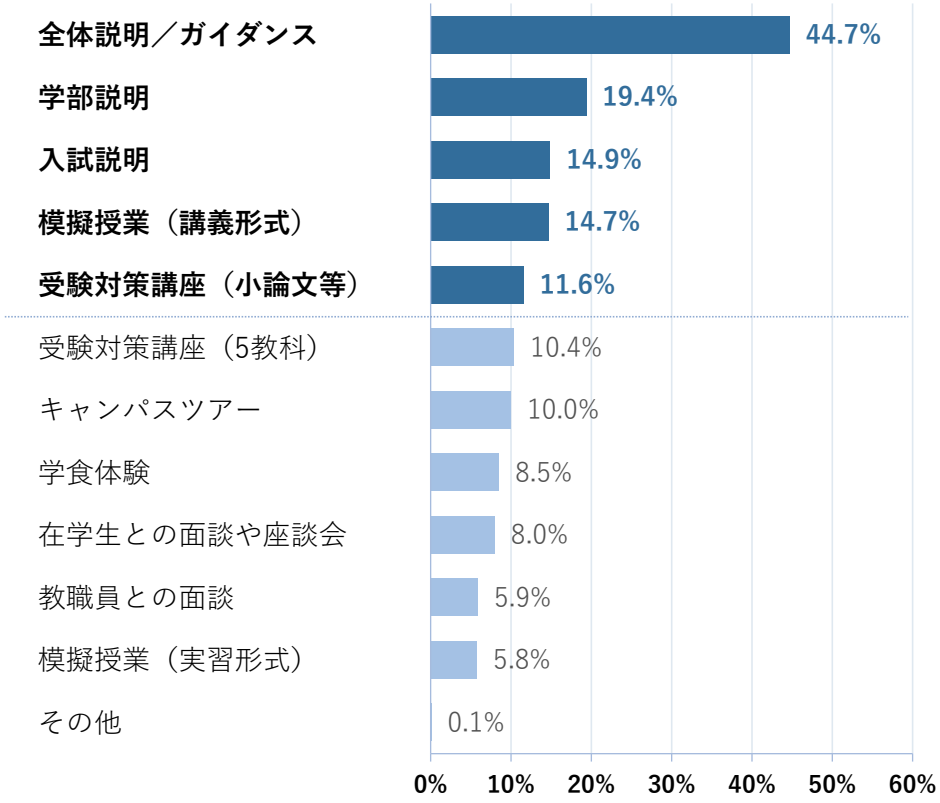
- 入学後の自分をイメージできた場面は、学校説明会や体験授業に加え、
  移動中やキャンパス内、イベント後にも広がる。

- 入学後のイメージには、人との交流、授業体験、キャンパスの雰囲気や施設など、
  複数の要素が関係。
  自由回答でも、大学生活を具体的に思い描いた回答がみられた。

参加したプログラムのうち、志望度が上がったプログラム

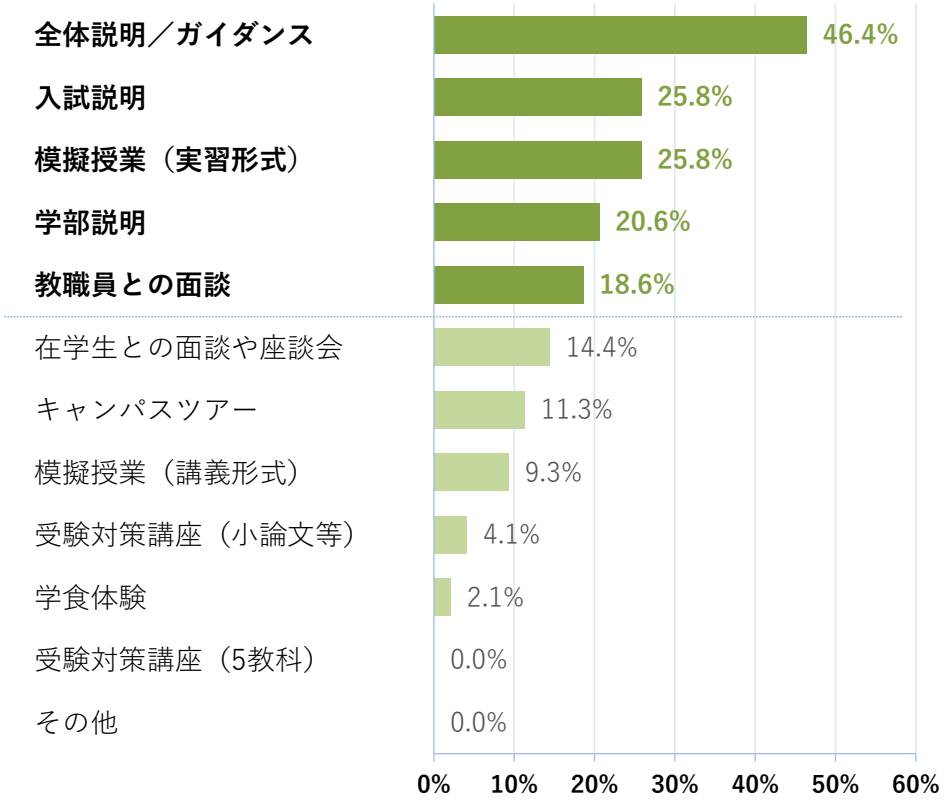
参加したプログラムのうち志望度が上がったものは、大学・短大、専門ともに「全体説明／ガイダンス」が最多。専門では「入試説明」「模擬授業（実習形式）」が各25.8%、「学部説明」が20.6%となった。

大学・短大進学希望者（n=808）



平均回答個数 **1.7** 個

専門進学希望者（n=97）



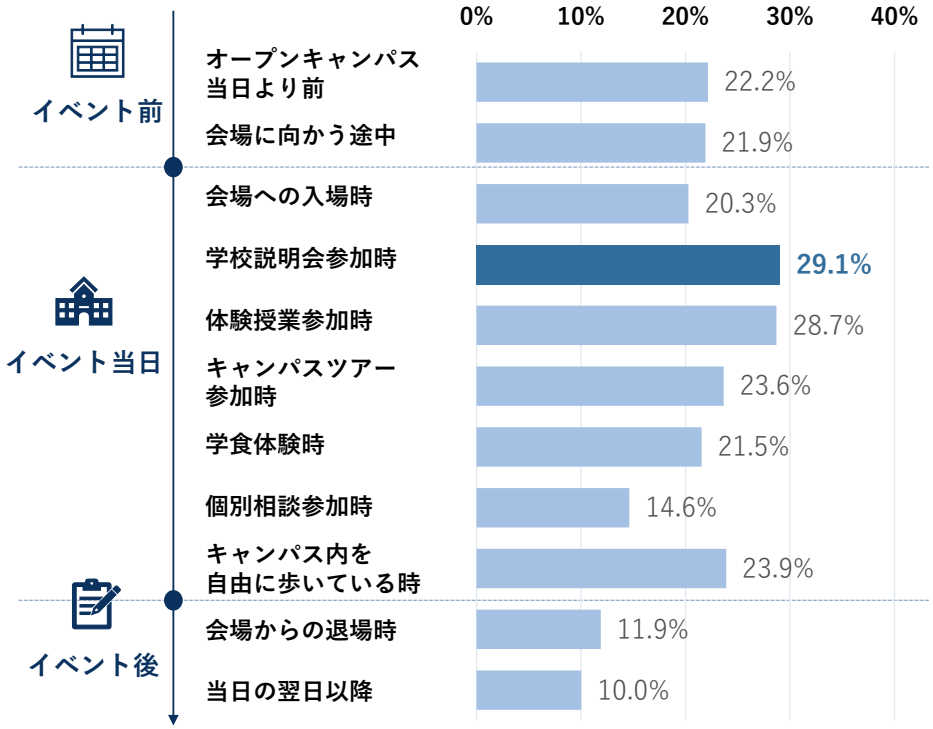
平均回答個数 **2.3** 個

※複数回答。「特にない」は順位対象外（大学・短大：9.9%、専門学校：22.7%）。
※平均回答個数は、「特にない」を除く選択肢の回答者を対象に算出。
※「受験対策（小論文等）」は小論文・志望理由書・面接、「模擬授業（講義）」は講義・授業形式を指す。

来場型イベントの参加前後で入学後の自分がイメージできた場面

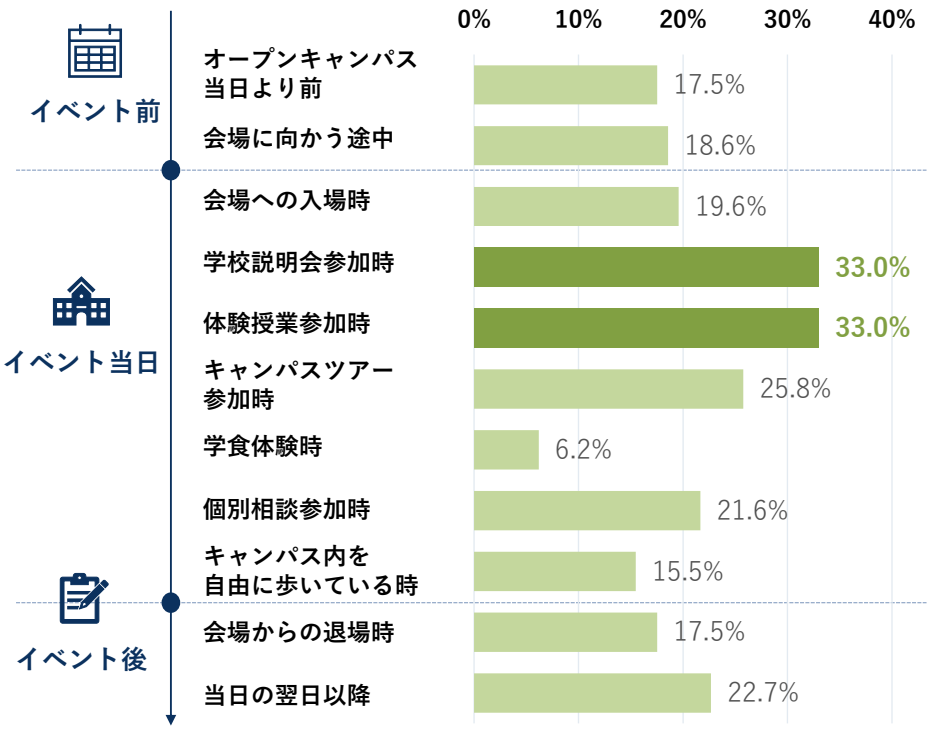
入学後の自分をイメージできた場面は、大学・短大、専門ともに「学校説明会参加時」「体験授業参加時」が上位。会場への移動や入退場、キャンパス内を自由に歩いている時など、イベント前後の場面にも回答がみられた。

大学・短大進学希望者（n=808）



平均回答個数 **2.5** 個

専門進学希望者（n=97）



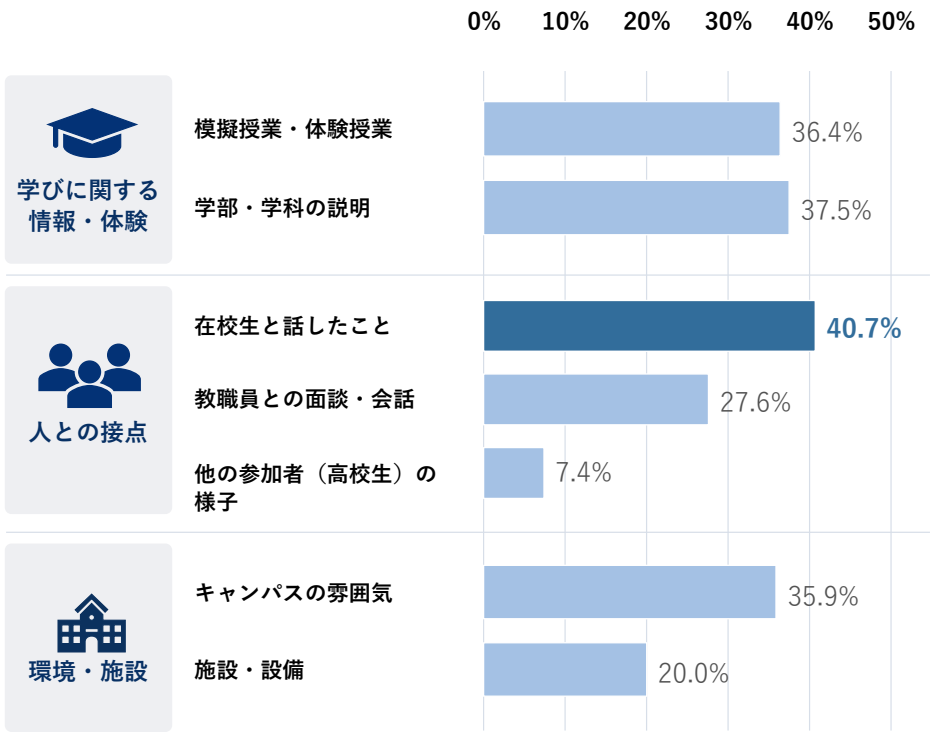
平均回答個数 **3.0** 個

※複数回答。「特にない」は順位対象外（大学・短大：9.4%、専門学校：22.7%）。「その他」は大学・短大0.6%、専門学校1.0%。
※平均回答個数は、「特にない」を除く選択肢の回答者を対象に算出。

イベント参加で入学後の自分をイメージできた理由

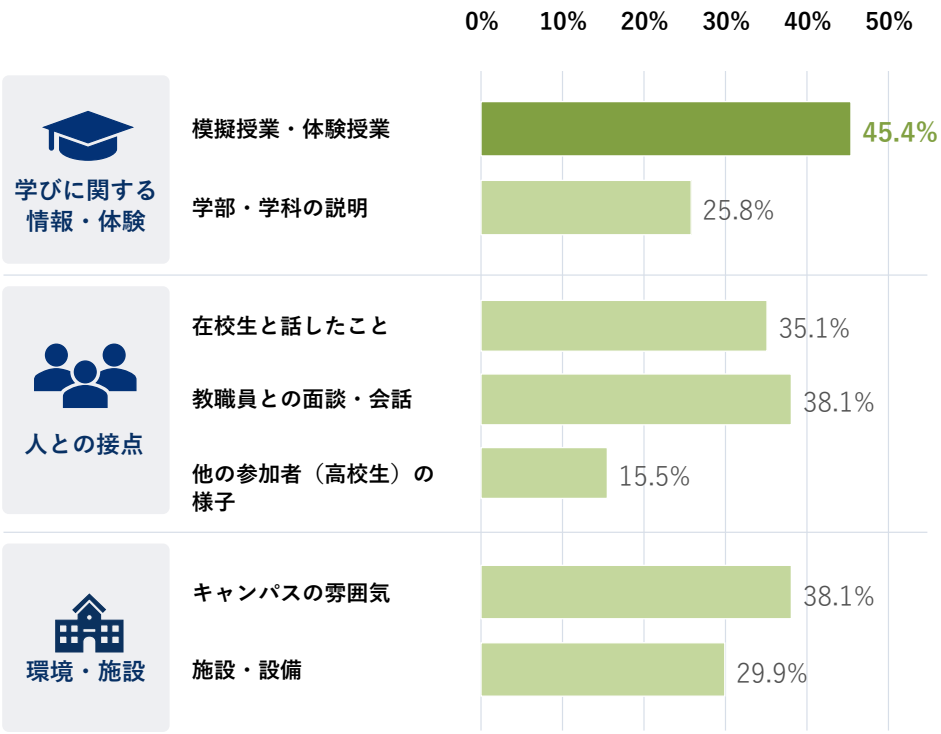
入学後の自分をイメージできた理由は、学びに関する体験、人との交流、キャンパスの雰囲気や施設など多岐にわたる。大学・短大では「在校生と話したこと」40.7%、専門では「模擬授業・体験授業」45.4%が最も高い。

大学・短大進学希望者（n=808）



平均回答個数 **2.3** 個

専門進学希望者（n=97）



平均回答個数 **2.8** 個

※複数回答。「特にない」：大学・短大 8.5% ／ 専門学校 18.6%　「その他」：大学・短大 0.9% ／ 専門学校 1.0%
※平均回答個数は「特にない」を除いて算出。大学短大は2.3個、専門は2.8個

入学後の自分をイメージできた具体的な場面

イベントでの具体的な体験を通じて、「学ぶ」「人と関わる」「学校で過ごす」「通学する」といった、入学後の自分の姿を思い描いた回答がみられた。

大学・短大進学希望者

授業・講義を受ける場面

- 実際の教室の机と椅子に座り講義を聴いて、学生になりきれた。
- 授業内容がとても面白く、ここで勉強したいと思った。

先生や在学生と関わる場面

- 実際の学部の教授の方の授業や、在校生さん達による学部紹介を聞いて、実際に入学したらこの人たちと一緒に学べるのかとワクワクしました。
- 実際に通っている学生のお話をきいて、ここで学びたいと強く思った。

キャンパスで過ごす場面

- 学食での生徒同士の会話などを聞いたりして、イメージが湧きました。
- キャンパス内のベンチでひと休みした時に、大学生になれた自分を想像できた。

専門進学希望者

実習・授業に取り組む場面

- 実際に先生から教わった時に入学をしたらこれが2年あると想像ができてワクワクした
- 自動車のエンジンを間近で見て作業したネジを締めるのにも順番があることなどを知った

先生や在学生と関わる場面

- 先生と話すことが楽しい、こんな日が来そうという想像ができた。
- 先輩や先生がたくさんはなしかけてくれた

キャンパスで過ごす場面

- 広くて綺麗な中庭でお弁当を食べてる自分が想像できた
- 廊下を歩いたり、教室に座った時

日常生活を体験した場面

- 実際に学校まで向かって電車などに乗りながら行っている最中は「これからはこんなふうに通学していくのか」と想像が膨らんだ。

※「入学後の自分をイメージできた場面について、具体的に印象に残っていること」の自由回答を内容別に整理し、各テーマに該当する回答の一部を原文のまま掲載。
※掲載順およびテーマは、回答数や割合の大小を示すものではない。

CHAPTER

IV

オープンキャンパス・進路選択における保護者との関わり

イベントへの同行・情報共有・進路決定について

保護者との関わりは、イベント参加から進学先の検討まで
学びに加え、学校生活や費用も確認

●イベントへの同行に限らず、保護者が参加校を把握しているケースが多く、
親子で学校情報を共有している様子がうかがえる。

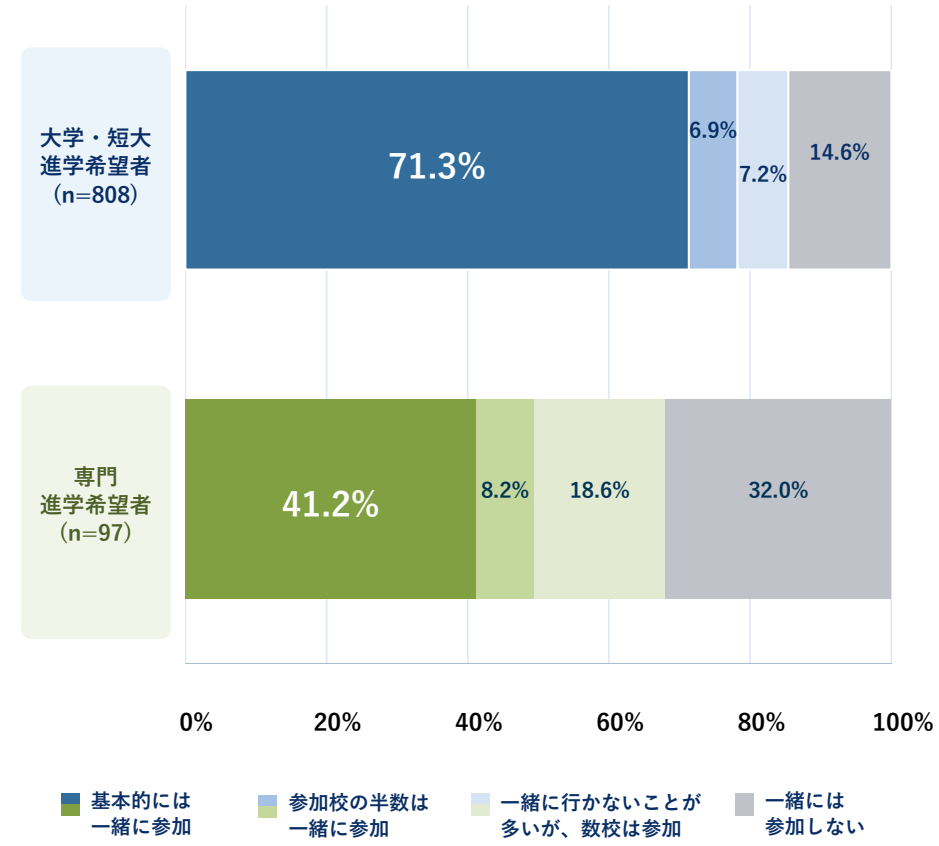
●保護者は学びの内容に加え、学校の雰囲気や通学環境、
学費・追加費用・受験料など、生活面と経済面も確認している。

●進学先の決定では、本人の意向を基本としながら、
保護者と意見をすり合わせて検討するケースも確認された。

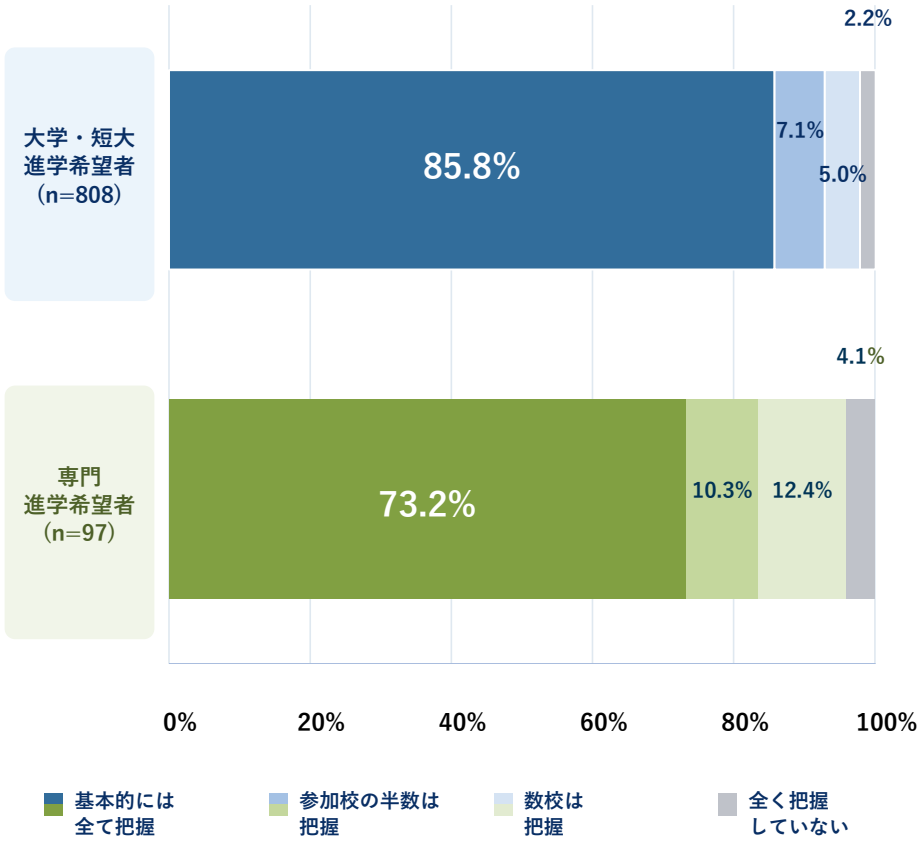
保護者とのイベント参加状況、イベント参加状況の把握度合い

保護者が「基本的には一緒に参加」する割合は、大学・短大71.3%、専門41.2%。
一方、参加校を「基本的には全て把握している」とする割合は、大学・短大85.8%、専門73.2%となった。

保護者とのイベント参加状況



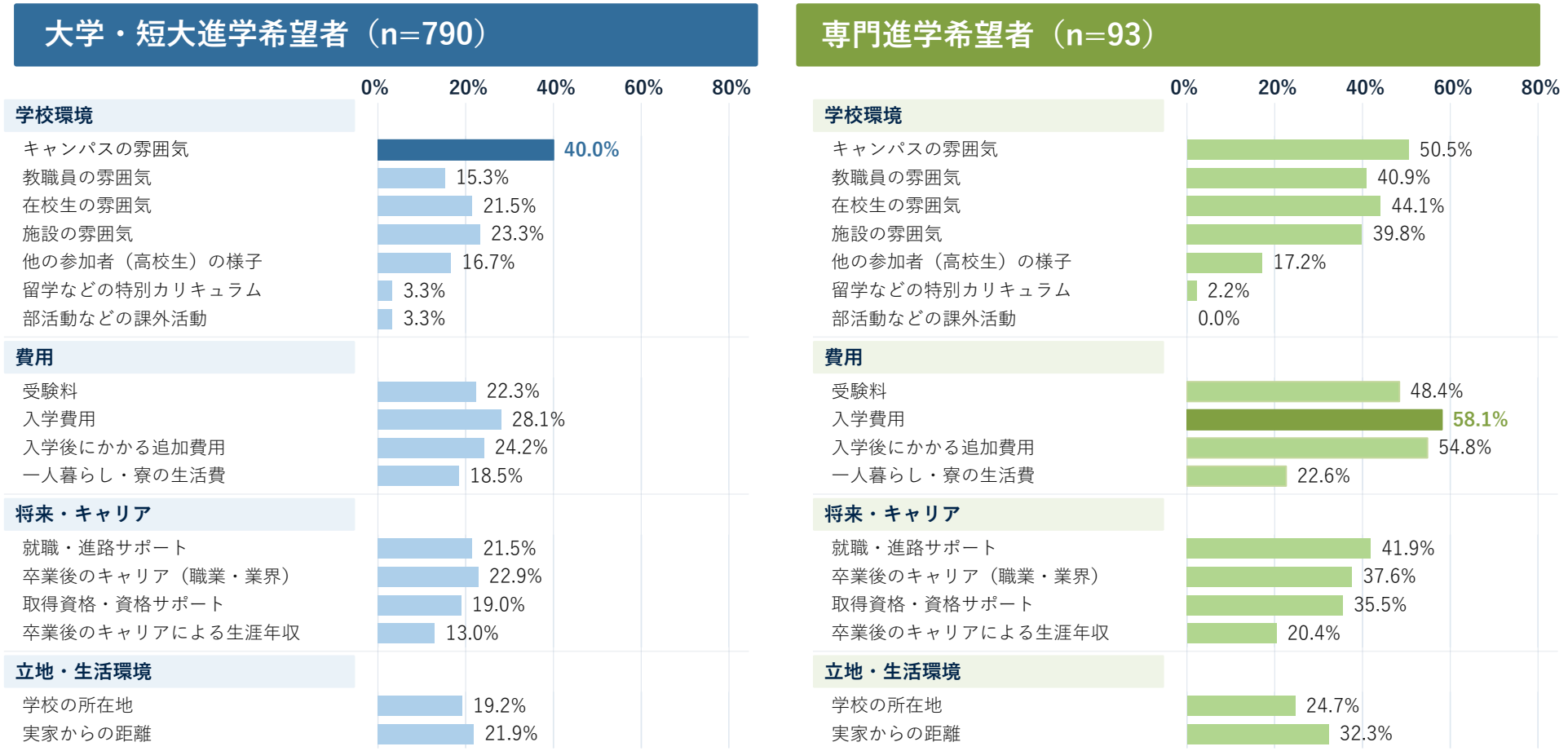
イベント参加校の保護者の把握状況



※四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。
※いずれも単一回答。
「イベント参加校の保護者の把握状況」は、保護者が参加校をどの程度把握しているかについて、高校生本人が回答。

保護者がイベントで気にするポイント(良い点・悪い点に限定しない)

保護者が気にするポイントとして、学校環境だけでなく、費用、卒業後の進路・キャリア、立地・生活環境など幅広い項目が挙げられた。大学・短大進学希望者では「キャンパスの雰囲気」40.0%、専門進学希望者では「入学費用」58.1%が最も高い。

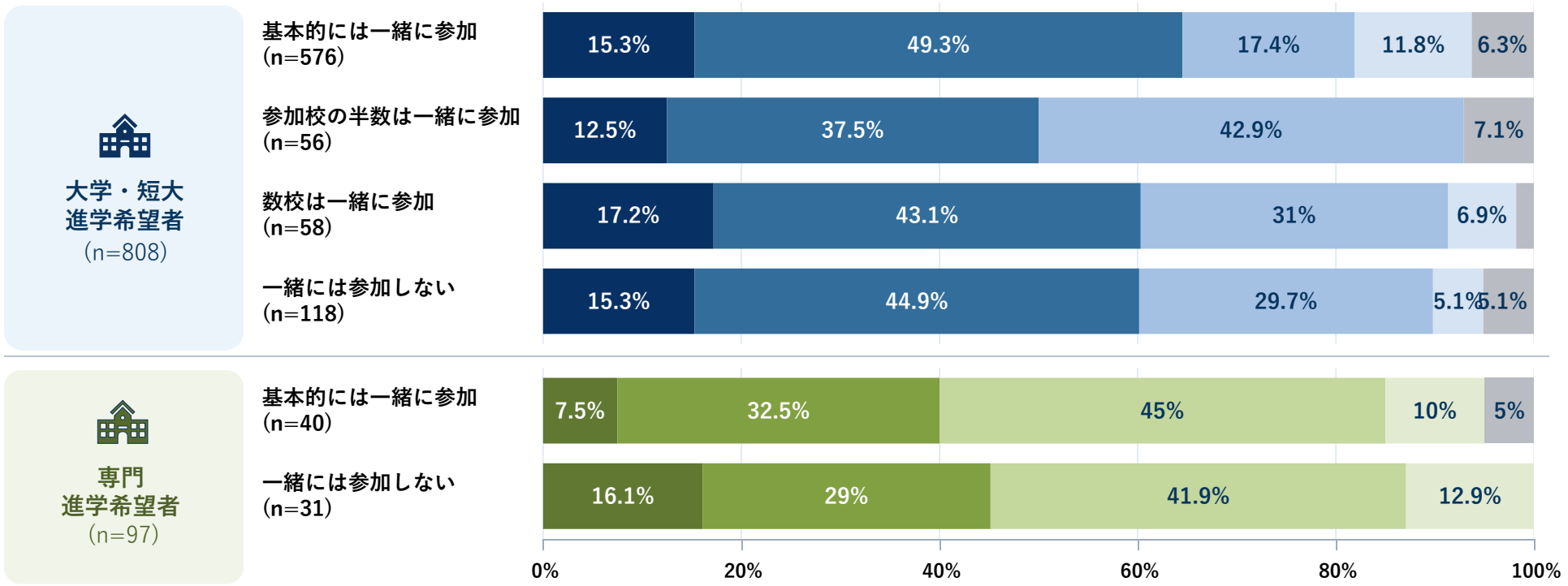


※各進学希望先の全回答者を分母として集計。「その他」は除いて掲載。
※回答項目は「学校環境」「費用」「将来・キャリア」「立地・生活環境」の4区分に整理して掲載。
※複数回答。「Q23 保護者はイベントにおいて何を気にしていますか。良いところも悪いところも含めて、話に出るポイントなどを全てお知らせください。」の回答

保護者とのイベント参加頻度と進学先への関与

保護者とのイベント参加頻度別にみると、進学先決定への関わり方の回答構成に違いがみられる。
保護者と意見をすり合わせて進学先を決める回答は、いずれの参加頻度でも一定程度確認された。

保護者はあなたの進学先決定にどの程度影響を及ぼしますか。最も近いものをお知らせください。（単一回答）



※各グラフのnは該当回答者数。
※専門学校進学希望者の「参加校の半数は一緒に参加」「数校は一緒に参加」は回答数が少ないため、掲載していない。
※本結果は、回答間の関連を示すものであり、因果関係を示すものではない。

CHAPTER

V

年内入試希望者にみる イベント参加行動の特徴

入試方式別の再集計結果より

年内入試希望者は、複数回の来場や幅広い事前確認が特徴
同行者とともに参加し、複数のプログラムを体験

- 来場回数は「1回」から「4回以上」まで分散。
  一般入試希望者とは参加回数の分布に違いがみられる。

- 参加前には、入試方法・資格・所在地など幅広い内容を確認。
  一般入試希望者と比べ、事前に確認する内容が複数項目に広がる。

- 同行者とイベントに参加する回答も多く、本人だけに限られない参加スタイルがみられる。

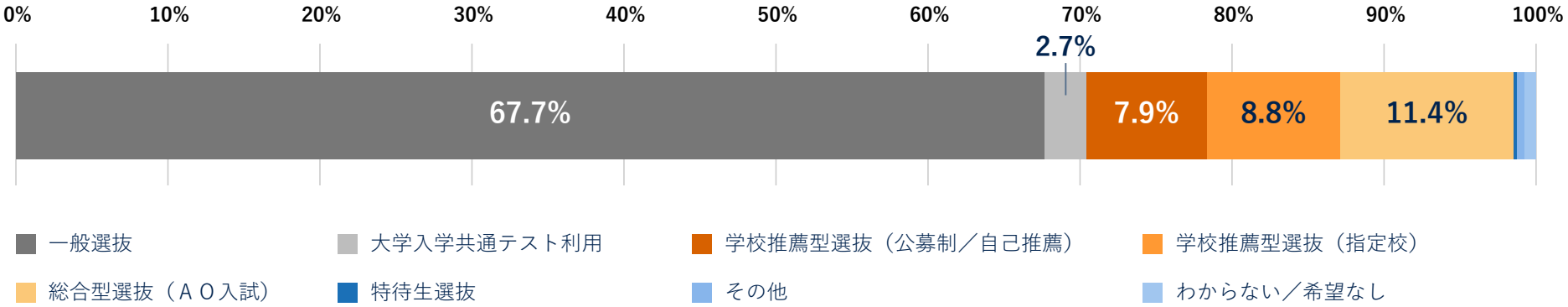
- 当日は、全体説明・学部説明・入試説明・模擬授業など、複数のプログラムに参加。

- 志望度が上がったプログラムや入学後をイメージした場面・理由にも、複数の回答がみられる。

再集計の概要

「現時点で最も検討している入試方法」の回答をもとに、大学・短大進学希望者808名を以下の2区分に再集計した。

入試方法の回答状況（全体：大学・短大進学希望者 n=808）



※「特待生選抜」0.2%、「その他」0.5%、「わからない／希望なし」0.7%。
※以降、上記の区分を「一般入試希望者」「年内入試希望者」として集計。

本章で取り扱う分類

1 一般入試希望者

「一般選抜」回答者
547名

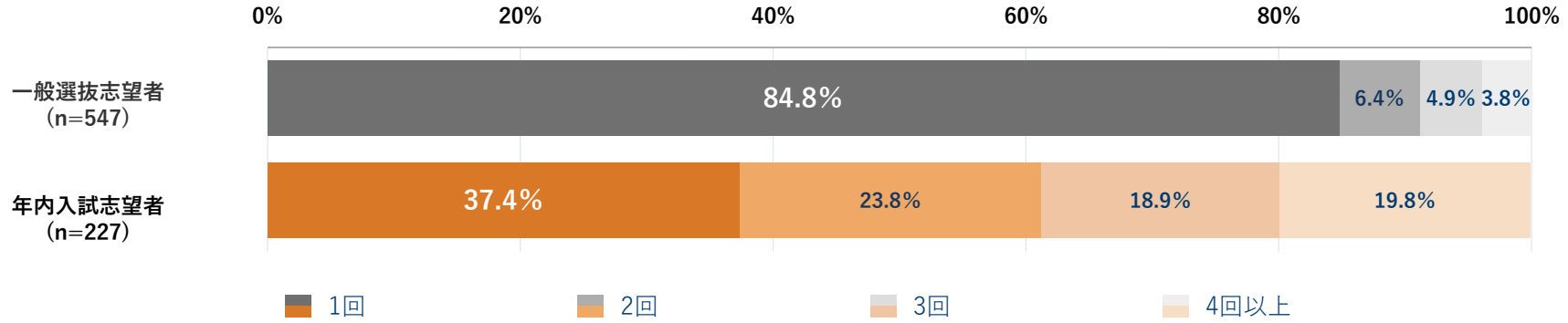
2 年内入試希望者

「学校推薦型選抜（公募制／自己推薦）」「学校推薦型選抜（指定校）」「総合型選抜（ＡＯ入試）」回答者
227名

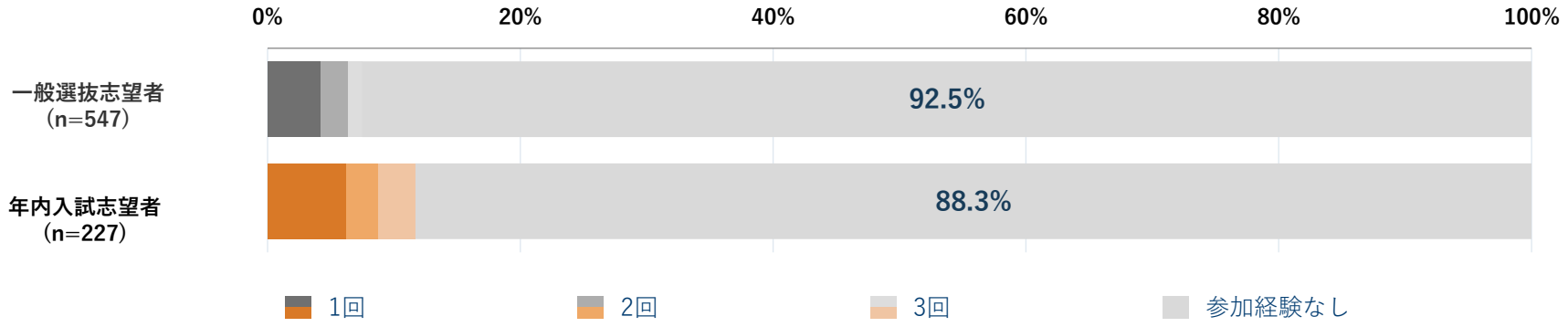
イベント参加回数(来場型・オンライン形式)

1校当たりのイベント参加回数をみると、来場型では一般入試希望者の84.8%が「1回」と回答。一方、年内入試希望者では「1回」37.4%、「2回」23.8%、「3回」18.9%、「4回以上」19.8%と回答が分散している。オンライン形式は、両者とも「参加経験なし」が8割を超える。

来場型



オンライン形式



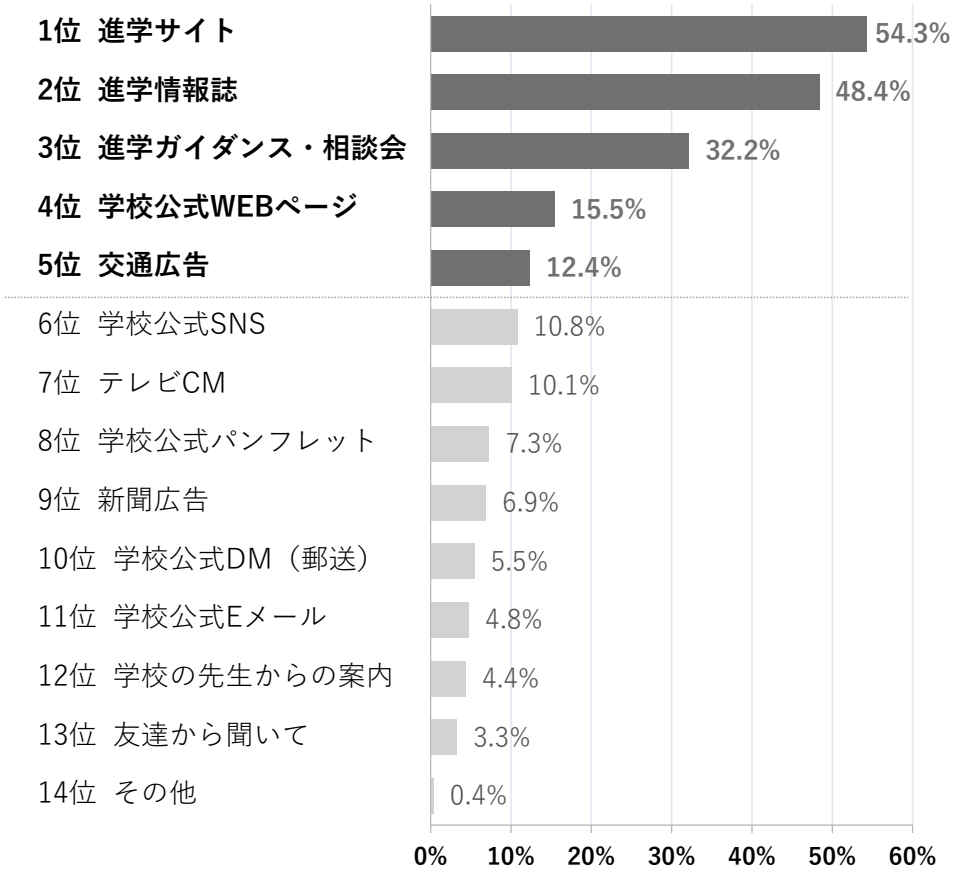
※1回／2回／3回：一般選抜志望者 4.2%／2.2%／1.1%年内入試志望者 6.2%／2.6%／2.9%

※イベントの形式を問わず、イベントに参加したことがあると回答した人に聴取。
※四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。

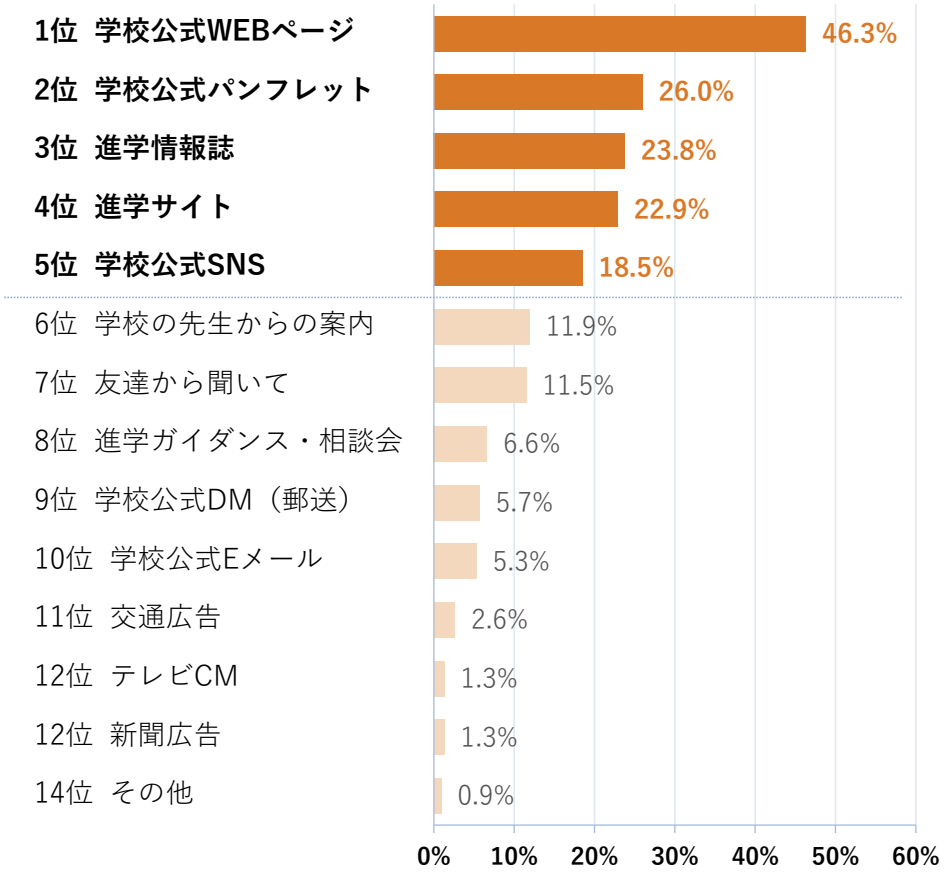
参加したイベントを知った情報媒体

イベントを知った媒体は、一般入試希望者では「進学サイト」が54.3%で最多。
年内入試希望者では「学校公式WEBページ」が46.3%で最多となった。

一般入試希望者（n=547）



年内入試希望者（n=227）

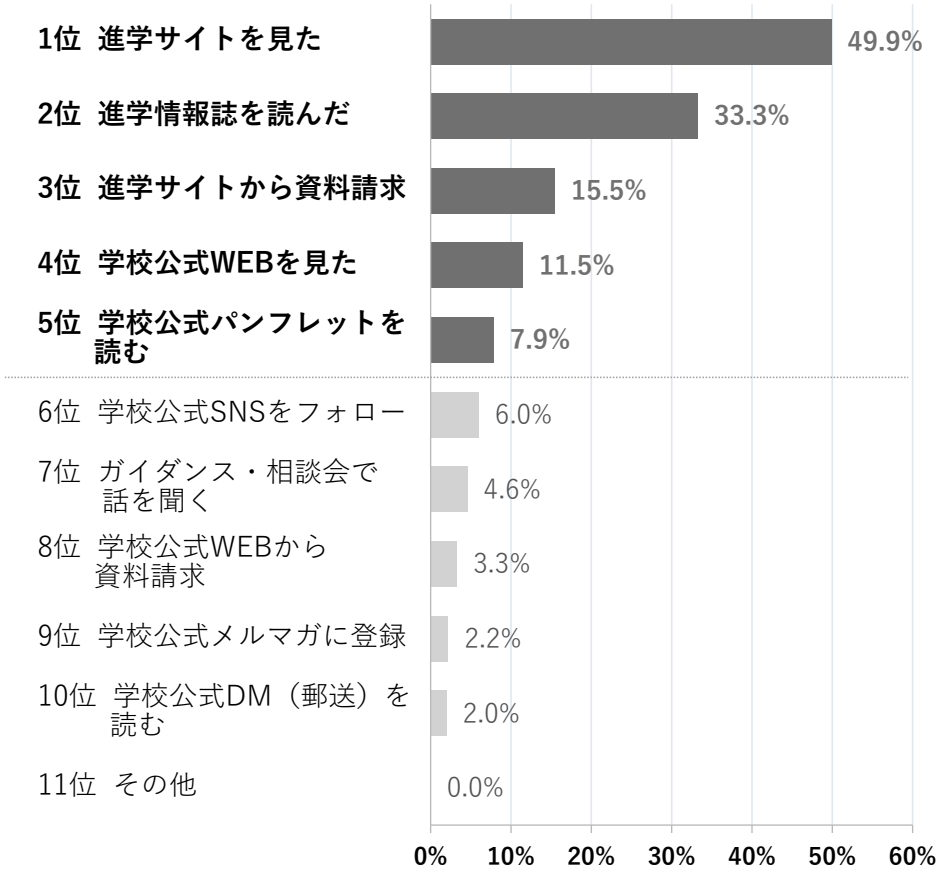


※複数回答。全15項目を掲載。「覚えていない」は順位対象外（一般入試希望者：1.6%、年内入試希望者：3.5%）。
※同率は同順位。項目名は一部省略（「学校公式SNS」はLINE・Xなど、「学校公式DM」は郵送）。

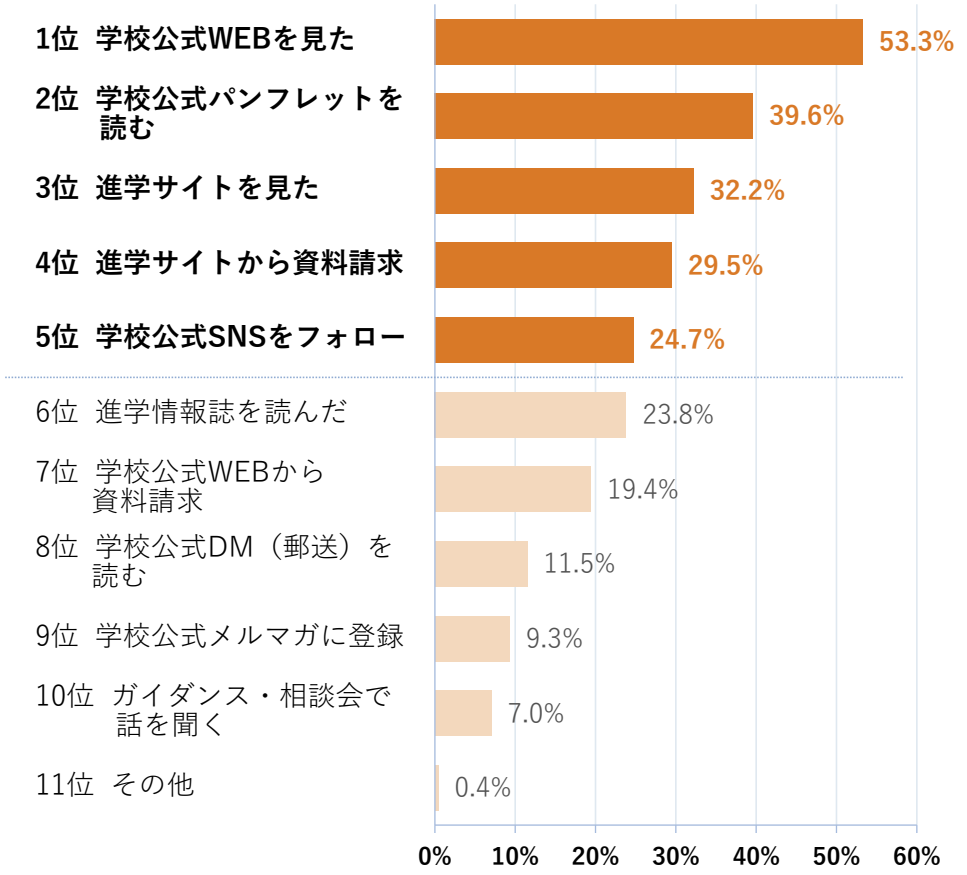
イベント参加前に行ったこと

**イベント参加前に行ったことは、一般入試希望者では「進学サイトを見た」が49.9%で最多。
年内入試希望者では「学校公式WEBページを見た」が53.3%で最多となり、
次いで「学校公式パンフレットを読んだ」が39.6%となった。**

一般選抜希望者（n=547）



年内入試希望者（n=227）

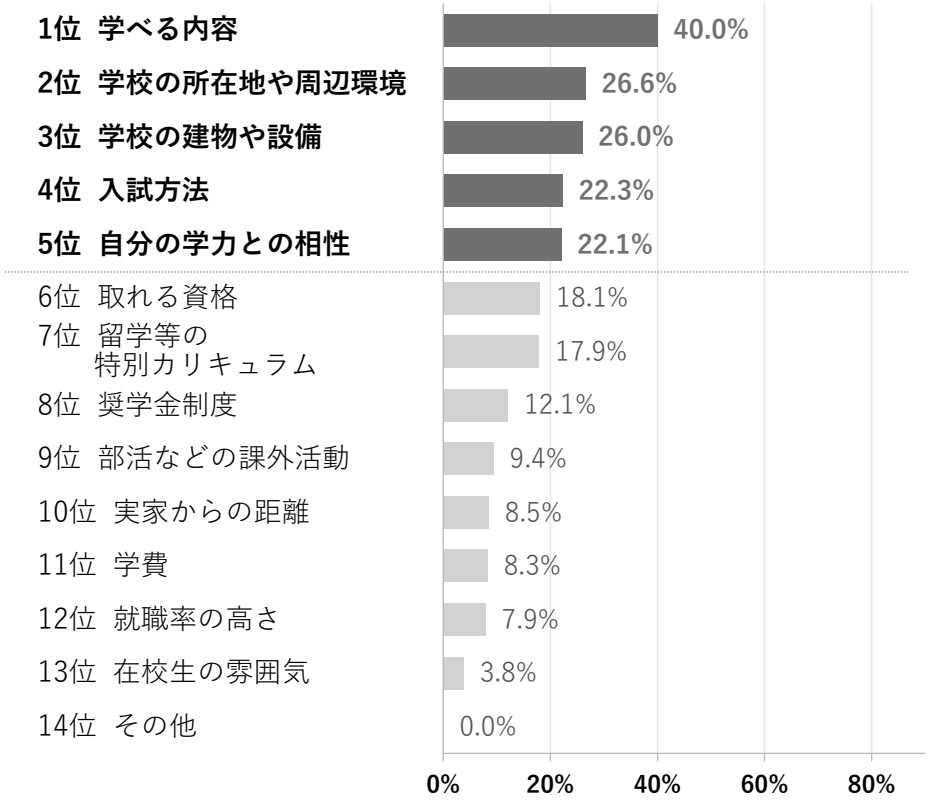


※複数回答。「アクションをしていない」は順位対象外（一般入試希望者：3.1%、年内入試希望者：5.7%）。
同率は同順位。項目名は一部省略。

イベント参加前に調べたこと

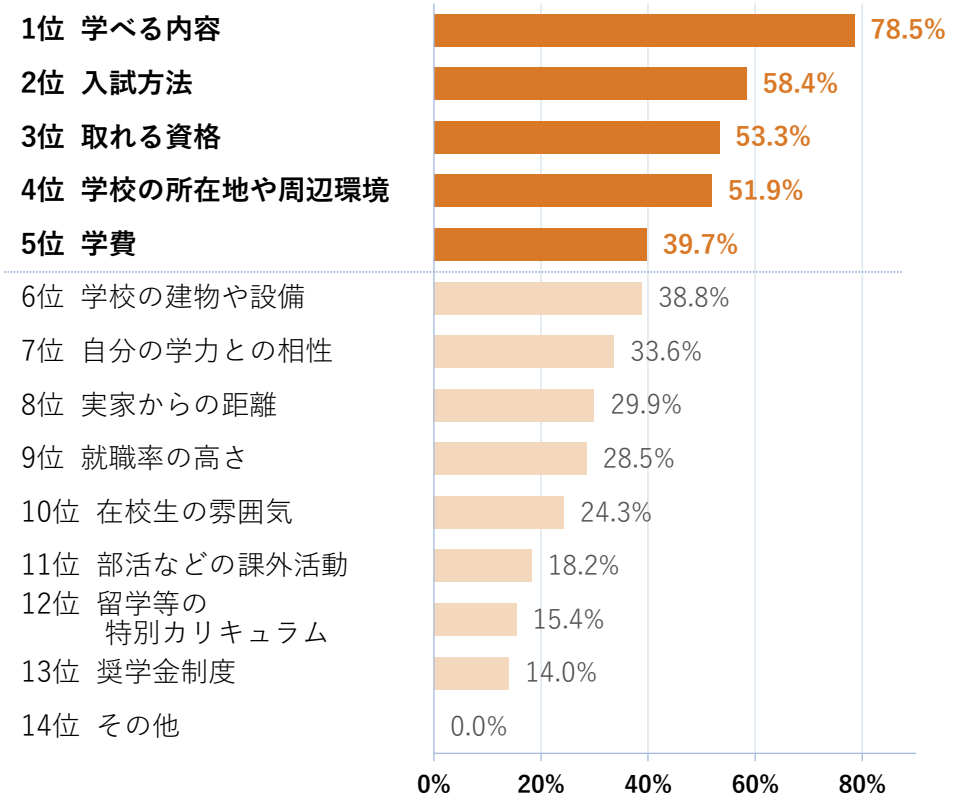
**参加前に調べた内容は、一般入試希望者、年内入試希望者ともに「学べる内容」が最多。
年内入試希望者では「入試方法」「取れる資格」「学校の所在地や周辺環境」「学費」も上位に挙がる。**

一般選抜希望者（n=530）



平均回答個数 **2.2** 個

年内入試希望者（n=214）



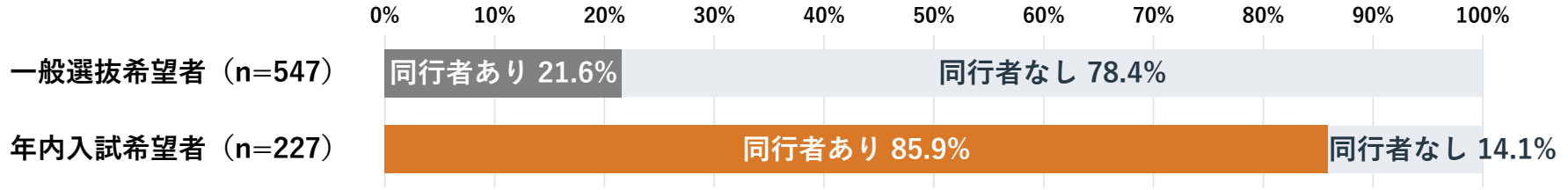
平均回答個数 **4.9** 個

※「事前準備はしていない」は順位対象外（一般入試希望者：0.9%、年内入試希望者：1.4%）。
※平均回答個数は「事前準備はしていない」を除いて算出（一般入試希望者：2.2個、年内入試希望者：4.9個）。
※回答対象：イベント参加前に「アクションをしていない」と回答した人を除く。

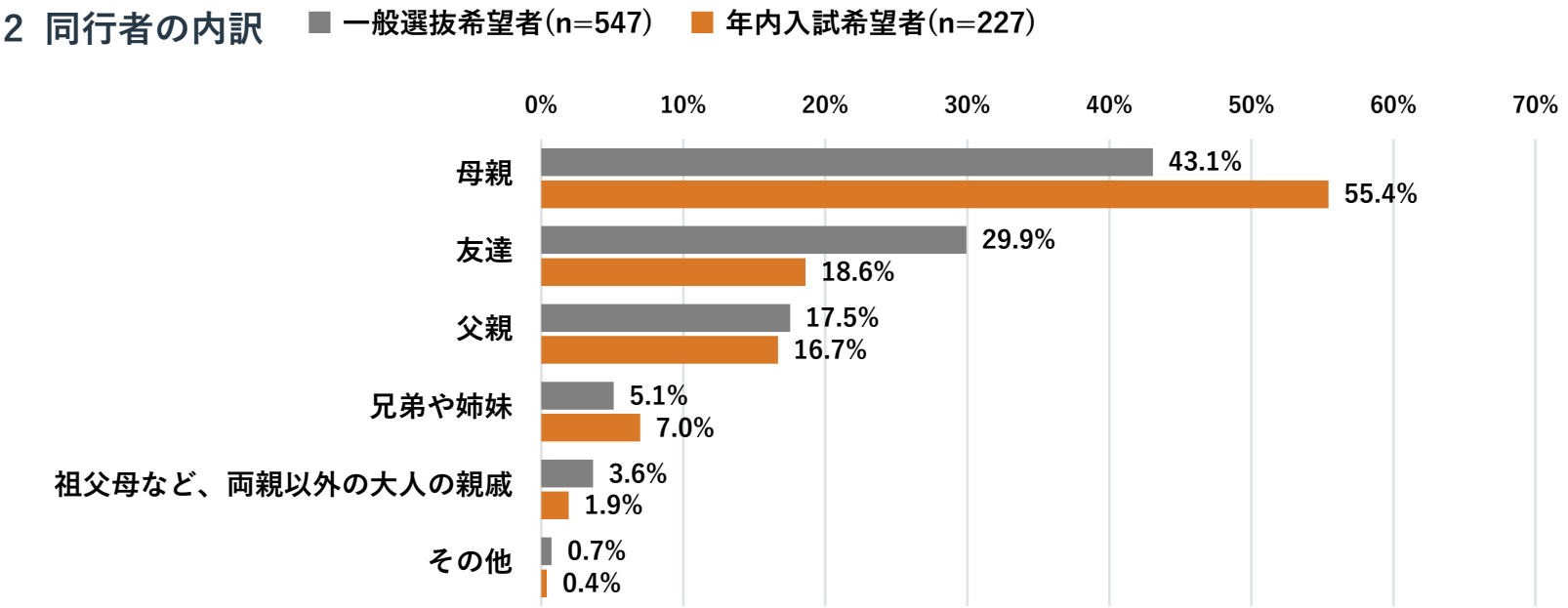
来場型イベント参加時の同行状況

一般選抜希望者では「同行者なし」での参加が78.4%を占める一方、年内入試希望者では「同行者あり」が85.9%。同行者は「母親」が63.0%で最も多く、「友達」21.1%、「父親」18.9%が続く。

1 同行者の有無



2 同行者の内訳

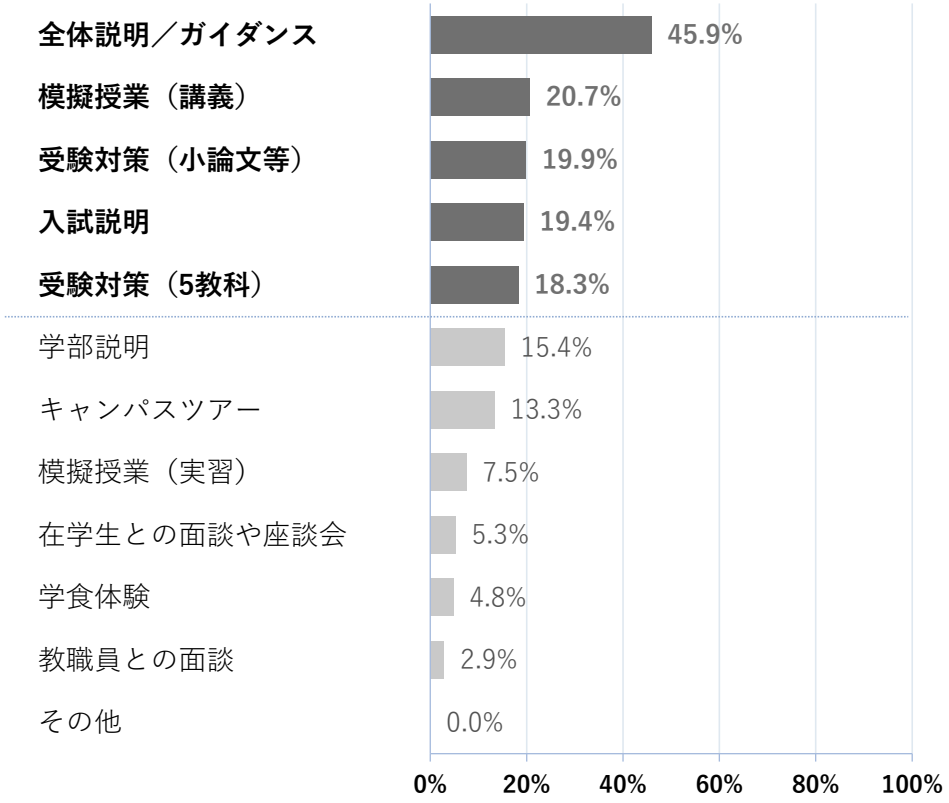


※「同行者あり」は、100%から「自分だけで行った」の割合を差し引いて算出。
※同行者は複数回答のため、各項目の合計は「同行者あり」の割合と一致しない。
※「２誰と行ったか」は「１同行者の有無」で「同行者あり」と回答した人を分母としている。

イベント参加前から参加したかったプログラム

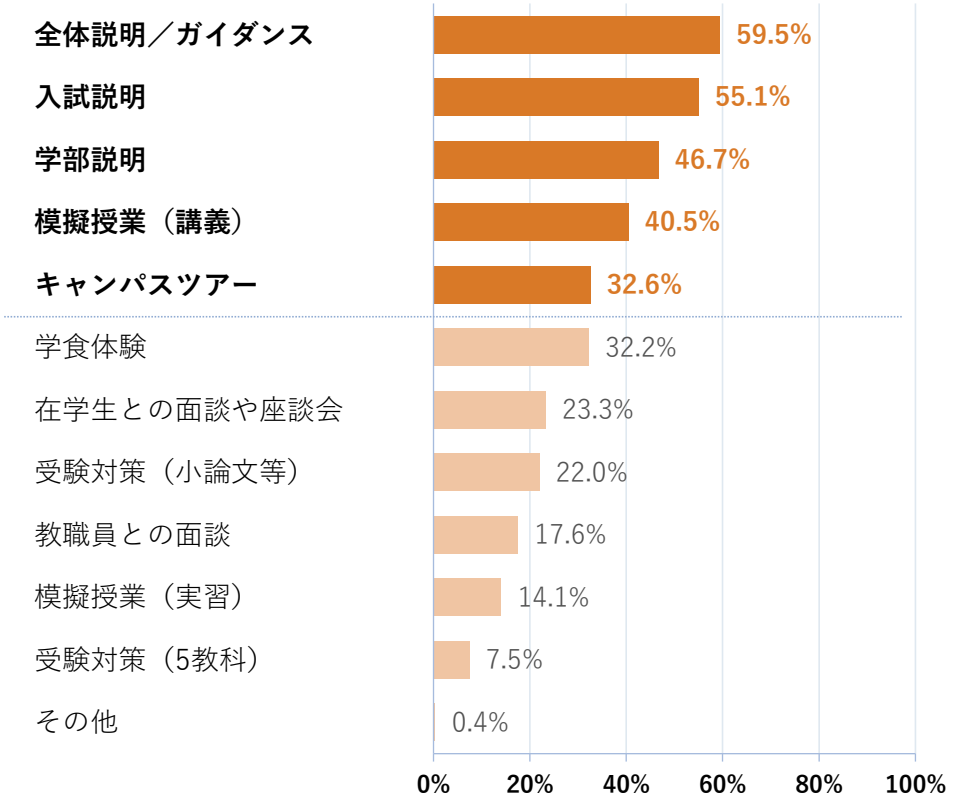
参加前から参加したかったプログラムは、一般入試希望者、年内入試希望者ともに「全体説明／ガイダンス」が最多。年内入試希望者では「入試説明」55.1%、「学部説明」46.7%、「模擬授業（講義）」40.5%も上位に挙がる。

一般選抜希望者（n=547）



平均回答個数 **1.8** 個

年内入試希望者（n=227）



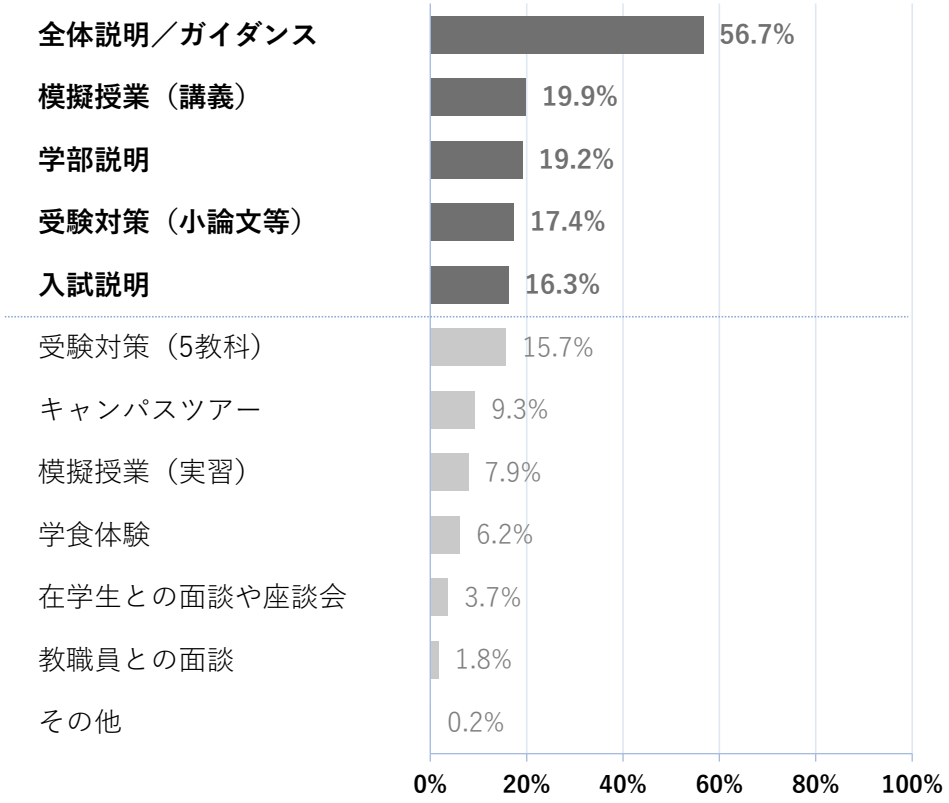
平均回答個数 **3.7** 個

※複数回答。「特にない」は順位対象外（一般入試希望者：2.2%、年内入試希望者：5.7%）
※平均回答個数は、「特にない」を除く選択肢の回答者を対象に算出。
※「受験対策（小論文等）」は小論文・志望理由書・面接、「模擬授業（講義）」は講義・授業形式を指す。

実際に参加したプログラム

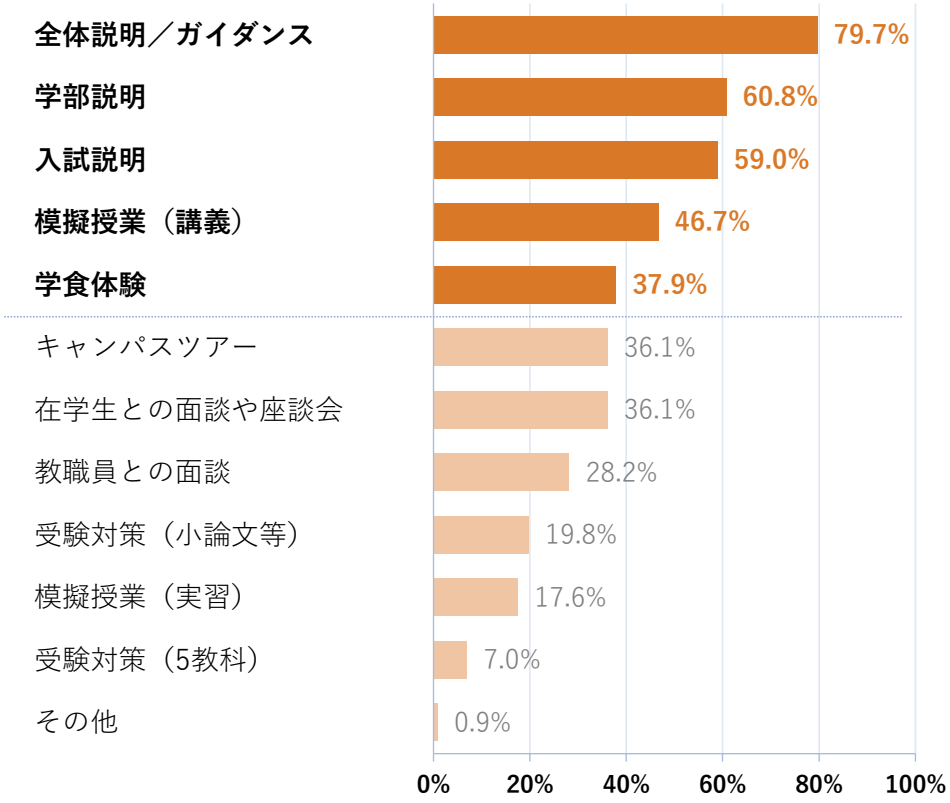
実際に参加したプログラムは、一般選抜希望者・年内入試希望者ともに「全体説明／ガイダンス」が最多。年内入試希望者では「学部説明」「入試説明」「模擬授業（講義）」など、複数のプログラムへの参加がみられる。

一般選抜希望者（n=547）



平均回答個数 **1.7** 個

年内入試希望者（n=227）



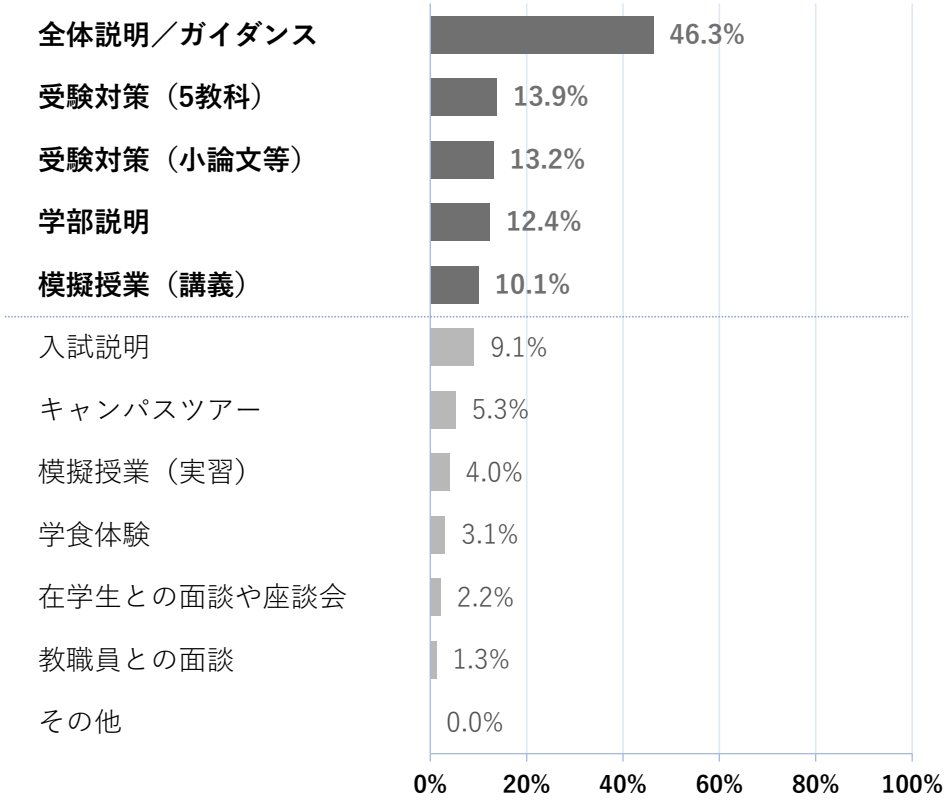
平均回答個数 **4.3** 個

※複数回答。各入試方式の全回答者を分母として集計しているため、各項目の合計は100%を超える。
※「受験対策（小論文等）」は小論文・志望理由書・面接、「模擬授業（講義）」は講義・授業形式を指す。

参加したプログラムのうち、志望度が上がったプログラム

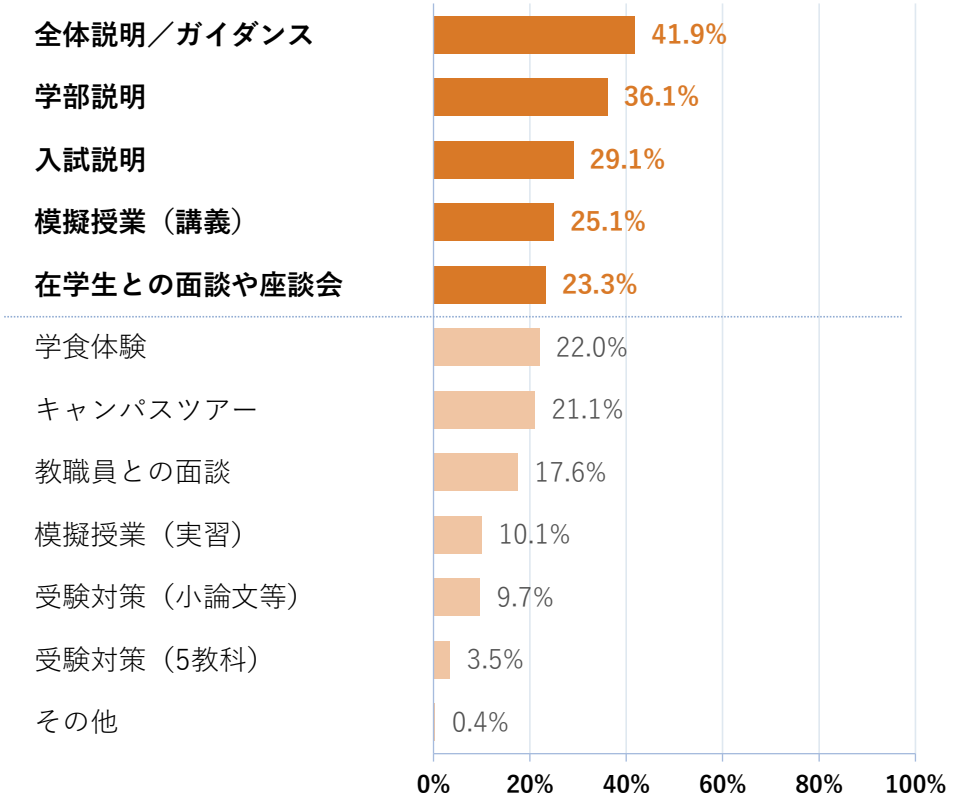
参加したプログラムのうち志望度が上がったものは、一般入試希望者、年内入試希望者ともに「全体説明／ガイダンス」が最多。年内入試希望者では「学部説明」36.1%、「入試説明」29.1%、「模擬授業（講義）」25.1%などにも回答がみられる。

一般選抜希望者（n=547）



平均回答個数 **1.3** 個

年内入試希望者（n=227）



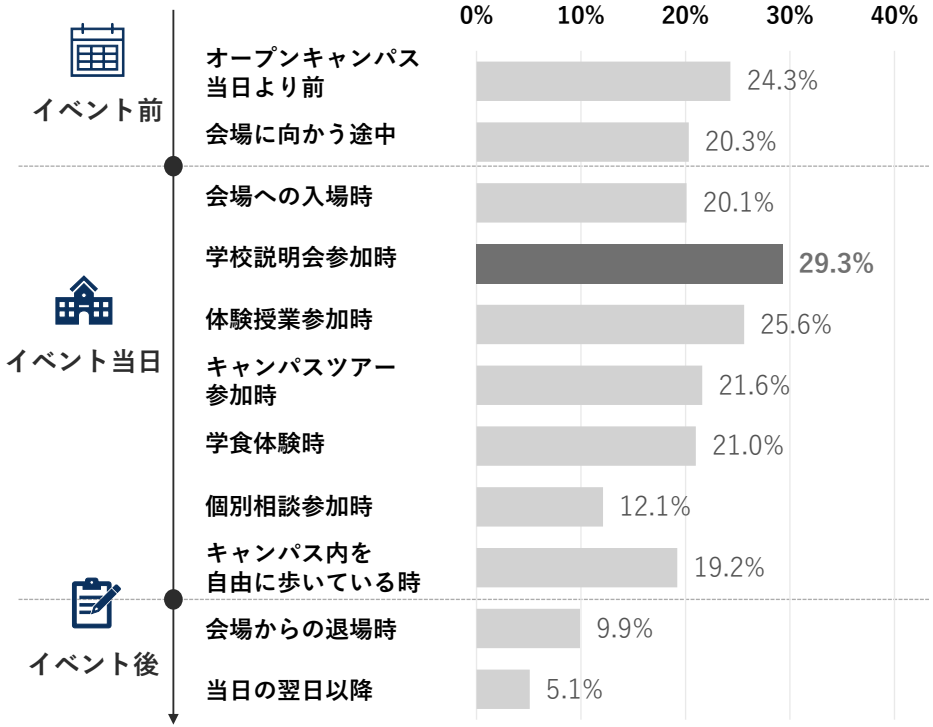
平均回答個数 **2.8** 個

※複数回答。「特にない」は順位対象外（一般入試希望者：7.3%、年内入試希望者：13.7%）。
※平均回答個数は、「特にない」を除く選択肢の回答者を対象に算出。
※「受験対策（小論文等）」は小論文・志望理由書・面接、「模擬授業（講義）」は講義・授業形式を指す。

来場型イベントの参加前後で入学後の自分がイメージできた場面

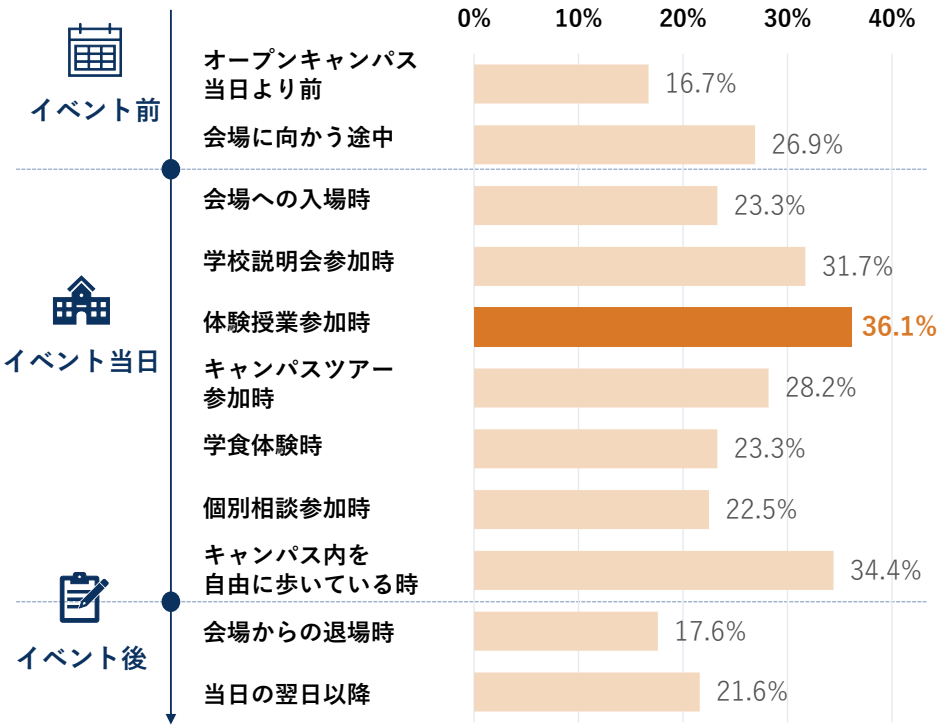
**入学後の自分をイメージできた場面は、一般入試希望者では「学校説明会参加時」が29.3%で最多。
年内入試希望者では「体験授業参加時」が36.1%で最も高く、「キャンパス内を自由に歩いている時」34.4%、「学校説明会参加時」31.7%と続く。**

一般選抜希望者（n=547）



平均回答個数 **2.1** 個

年内入試希望者（n=227）



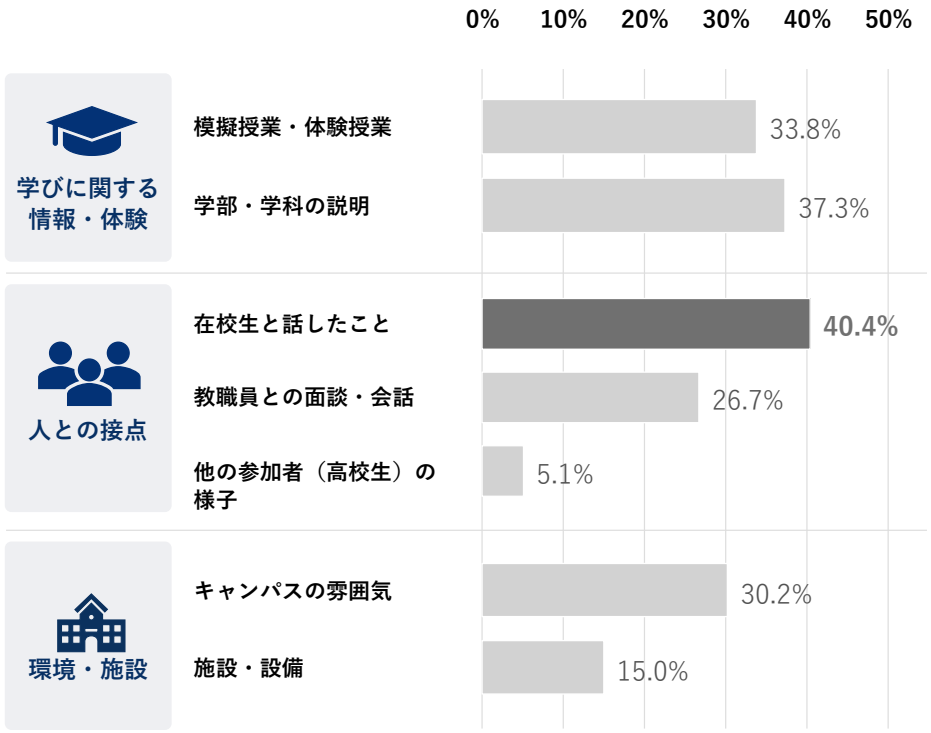
平均回答個数 **2.8** 個

※複数回答。「特にない」は順位対象外（一般入試希望者：6.0%、年内入試希望者：16.3%）。
「その他」は一般入試希望者0.4%、年内入試希望者1.3%。
※平均回答個数は、「特にない」を除く選択肢の回答者を対象に算出。

イベント参加で入学後の自分をイメージできた理由

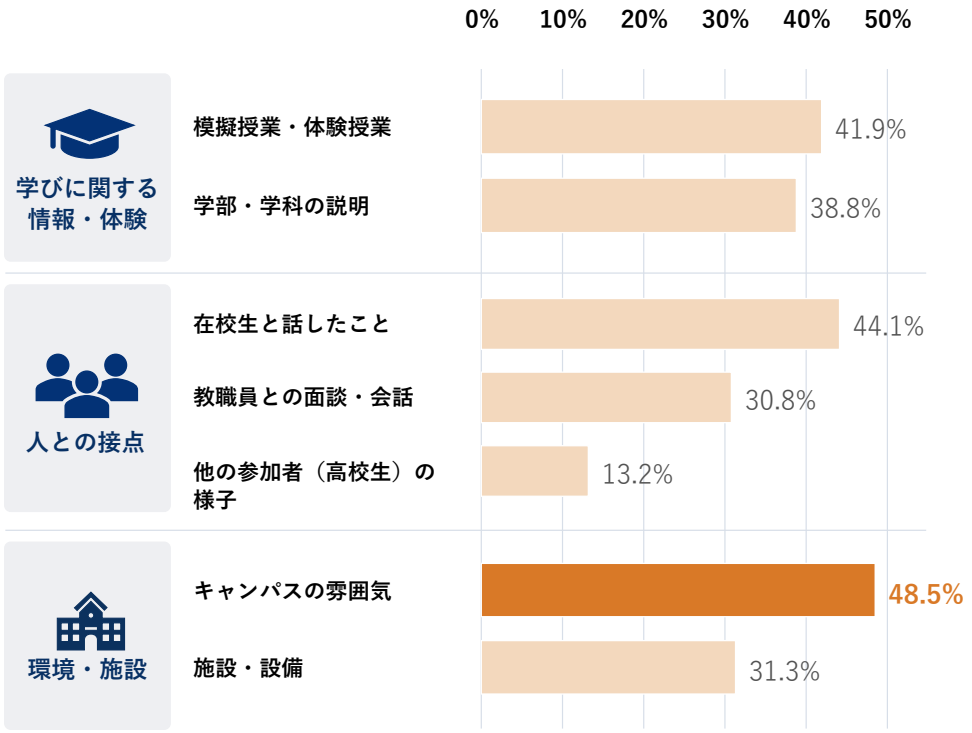
入学後の自分をイメージできた理由は、学びに関する体験、人との交流、環境・施設など多岐にわたる。一般入試希望者では「在校生と話したこと」40.4%、年内入試希望者では「キャンパスの雰囲気」48.5%が最も高い。

一般選抜希望者（n=547）



平均回答個数 **2.0** 個

年内入試希望者（n=227）



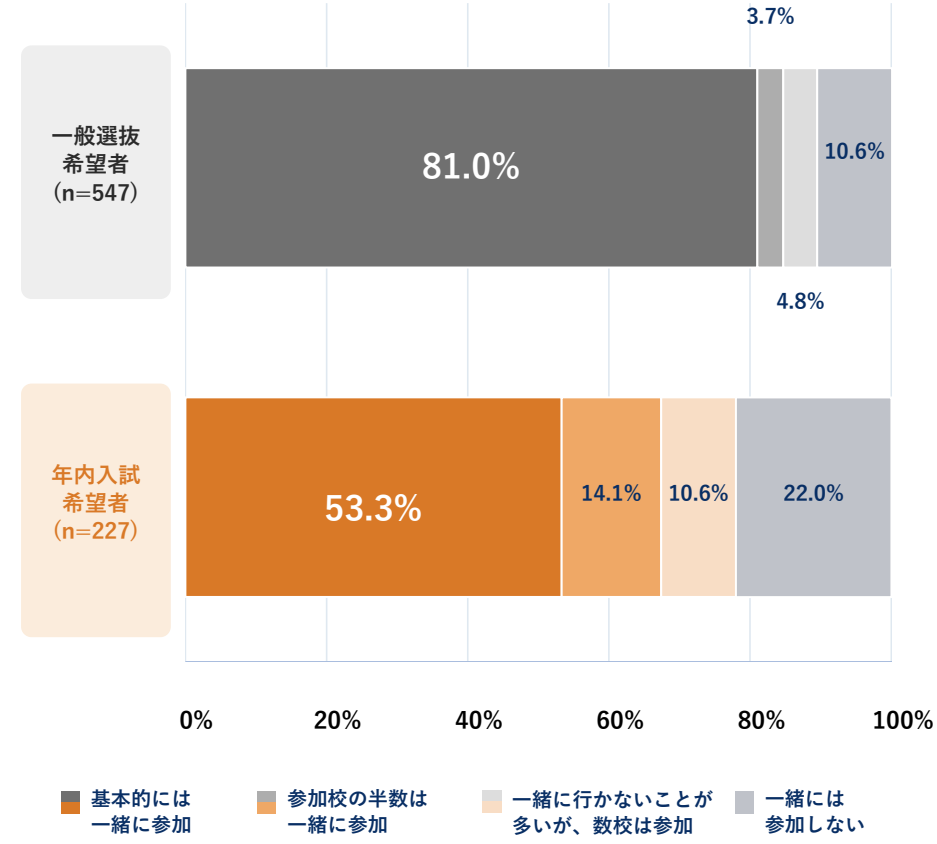
平均回答個数 **3.0** 個

※複数回答。
「特にない」：一般入試希望者 5.5% ／ 年内入試希望者 15.4%　「その他」：一般入試希望者 0.4% ／ 年内入試希望者2.2%
※平均回答個数は、「特にない」を除く選択肢の回答者を対象に算出。

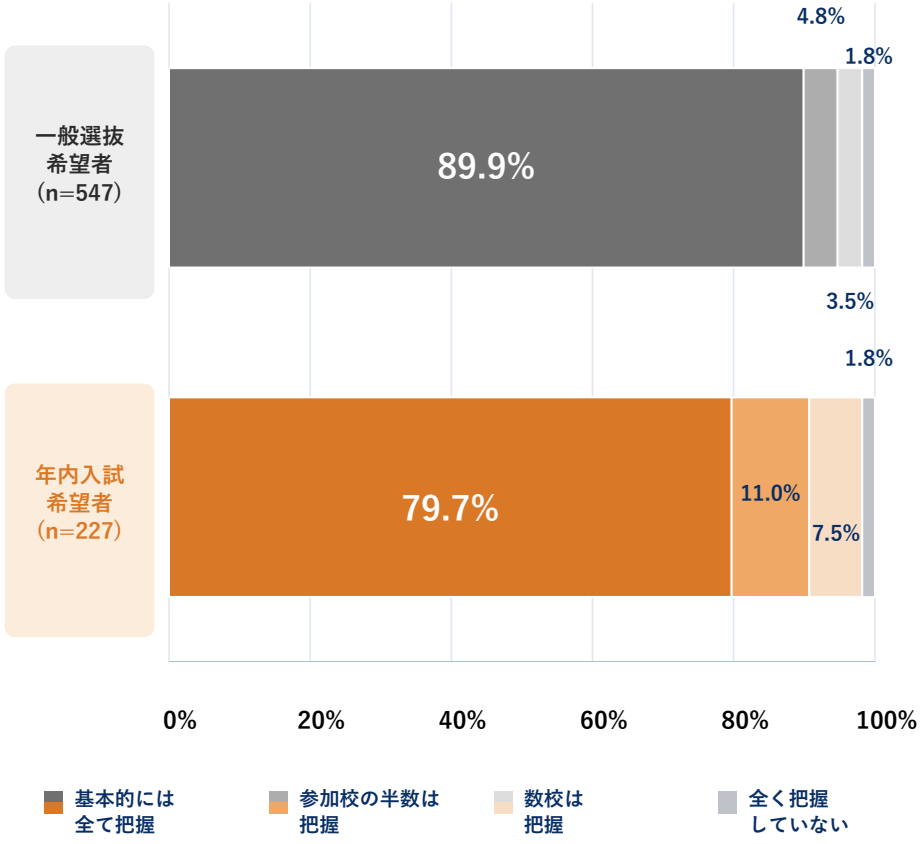
保護者とのイベント参加状況、イベント参加状況の把握度合い

**保護者と「基本的には一緒に参加」する割合は、一般入試希望者81.0%、年内入試希望者53.3%。
一方、参加校を「基本的には全て把握している」とする割合は、一般入試希望者89.9%、
年内入試希望者79.7%となった。**

保護者とのイベント参加状況



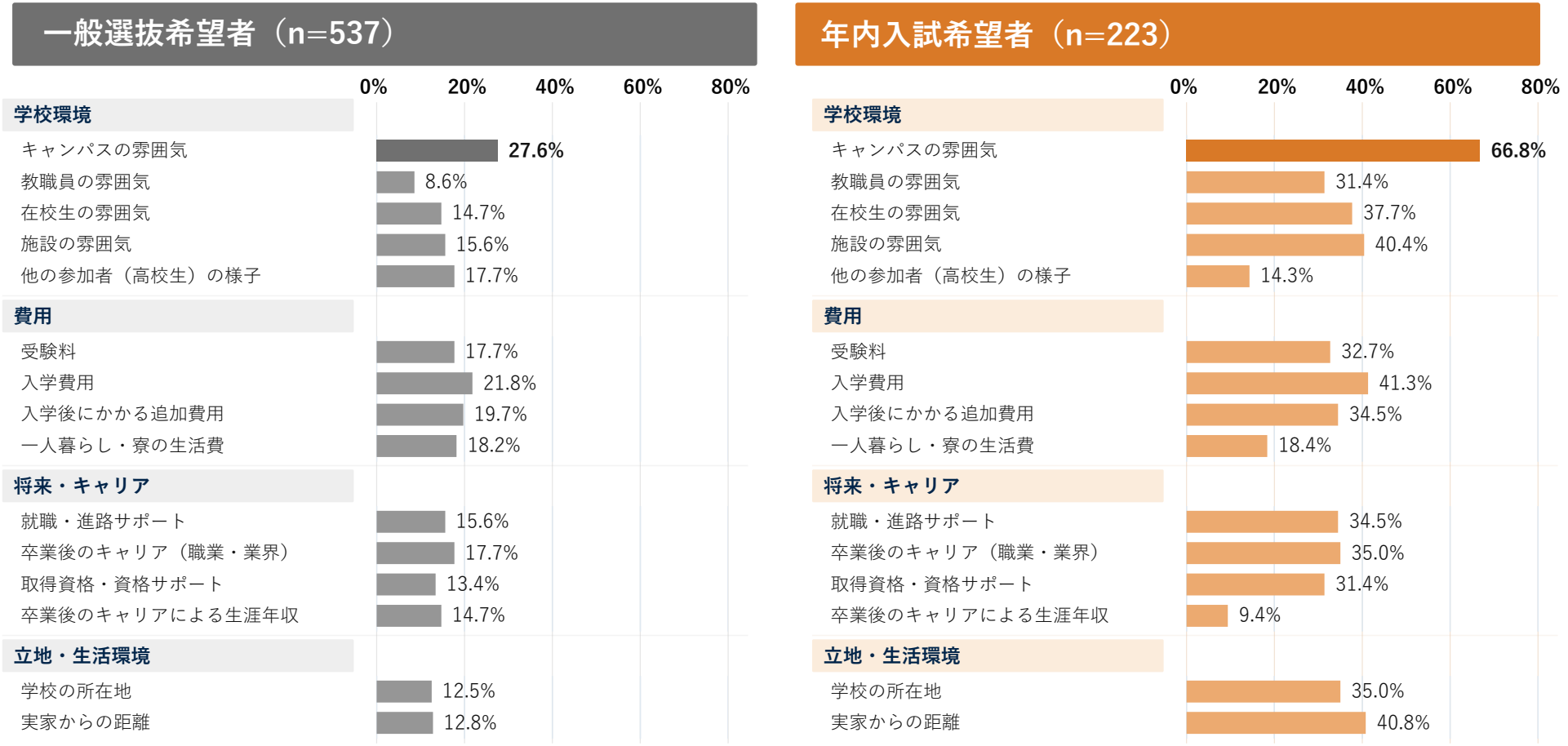
イベント参加校の保護者の把握状況



※四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。
※いずれも単一回答。
「イベント参加校の把握状況」は、保護者がどの程度参加校を把握しているかについて、高校生本人が回答。

保護者がイベントで気にするポイント(良い点・悪い点に限定しない)

両者とも「キャンパスの雰囲気」が最も高く、一般選抜希望者27.6%、年内入試希望者66.8%。
年内入試希望者では「入学費用」「実家からの距離」「施設の雰囲気」も4割を超える。



※各進学希望先の全回答者を分母として集計。「その他」は除いて掲載。
※回答項目は「学校環境」「費用」「将来・キャリア」「立地・生活環境」の4区分に整理して掲載。
※複数回答。「Q23 保護者はイベントにおいて何を気にしていますか。良いところも悪いところも含めて、話に出るポイントなどを全てお知らせください。」の回答

CHAPTER

VI

総括

オープンキャンパスは、
高校生が「入学後の1日」を疑似体験できる機会に

**本調査からは、高校生がオープンキャンパスに参加する過程で、学びや入試に関する情報に加え、
在校生との交流やキャンパスの雰囲気、通学などをイメージできる「体験」から、
入学後の自分を具体的に思い描いていることがうかがえた。**

01 来場から翌日までを一つの体験として設計する

▶学校説明会や体験授業に加え、移動中やキャンパス内、イベント参加後など、イベントの前後を通じて入学後の自分をイメージした回答がみられた。

▶来場当日だけでなく、前後の時間も含めた一連の流れが、入学後のイメージ形成につながっている。

例えば…

- **受付・待ち時間・自由見学・帰宅後など、OC当日を一つの体験として設計する。**
- **キャンパスの雰囲気が自然に伝わるコンテンツや交流機会を意識する。**
- **参加前の情報収集から参加後のフォローまでを連動させ、翌日以降も余韻が残る接点をつくる。**

02 年内入試受験者は、「何度も」「幅広く」体験して学校を見極める

▶イベントに複数回参加する人が多い。

▶対面機会だからこそ得られる在学生との接点も重要。

▶複数回・複数プログラムへの参加を通じて、学校の雰囲気や学びを見極めている。

例えば…

- **在学生との面談・座談会のコンテンツがあることを事前に紹介しておく。**
- **OCスタッフに運営を手伝ってもらうだけではなく、学校の魅力を伝えてもらう広告塔として活躍してもらう。**
- **複数回参加しても新鮮さが続くよう、回ごとに体験内容やプログラムに変化をつける。**

マイナビ進学総合研究所

本データを出版・印刷物、WEBサイト等へデータを転載する際には、「※調査名」（マイナビ進学総合研究所調べ）と明記ください。
資料に関するご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社マイナビ キャリアデザイン事業本部 マイナビ進学総合研究所
E-mail：ms-souken@mynavi.jp
URL: https://souken.shingaku.mynavi.jp